

No.	高浜2－特別点検（原子炉容器）－4 rev1
質 問	<p>(添付-1 14) 炉内計装筒(溶接部)の試験対象範囲について、試験対象範囲を決定したプロセス(考え方)を提示すること。</p>
回 答	<p>「高浜1－特別点検（原子炉容器）－4 rev1」の回答と同様です。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

No.	高浜2－特別点検（原子炉容器）－10rev1
質 問	<p>(添付-3、添付-4) 一次冷却材ノズルコーナー部及び炉内計装筒（内面の溶接熱影響部）に係る非破壊試験（ET）記録が、適切な探傷等により得られた結果であることを示す記録（検出精度、探傷及び解析装置、要員の力量、解析結果等）を提示すること。</p>
回 答	<p>○検出精度について <一次冷却材ノズルコーナー部> 通常型プローブ及び磁気飽和（以下MAGとする）型プローブ共に溶接線平行方向に付与した[] 溶接線直交方向に付与した深さ [] を検出可能なことを確認している。（添付-1参照）</p> <p><炉内計装筒（内面の溶接熱影響部）> 今回適用するECT手法は過去の確性試験により深さ0.5mm程度のSCCに対する検出能力が確認されている。今回の特別点検においてもこの検出性確認時と同仕様の [] を適用している。 [出典 潜在欠陥に対する超音波ピーニング/ウォータージェットピーニングの影響に関する確性試験報告書]</p> <p>○探傷及び解析装置について 探傷及び解析に使用した装置については、JEAG4217-2010にて要求されている事項に対し、それぞれ適合していることを予め確認し工事に使用している。 なお、サンプリングレートについては下記の通り設定しておりJEAG4217にて要求されている「走査距離25mm当たり30点以上」を十分満足している。 また、分解能については、1点当たり [] である探傷器を適用しており、JEAG4217にて要求されている「1点当たり12ビット以上」を満足している。</p> <p><一次冷却材ノズルコーナー部サンプリングレート> 凸部（内側）：走査距離25mm当たり [] 平坦部：走査距離25mm当たり []</p> <p><炉内計装筒（内面の溶接熱影響部）サンプリングレート> 3ループ（ [] ：走査距離25mm当たり [] 点</p> <p>添付-2：渦流探傷器校正証明書 添付-3：ECT校正記録（ノズルコーナー） 添付-4：ECT校正記録（炉内計装筒管台） 添付-5：解析装置JEAG4217適合性確認結果</p>

○要員の力量について

一次冷却材ノズルコーナー部及び炉内計装筒（内面の溶接熱影響部）の非破壊試験(ET)従事者はJIS Z 2305に基づき認定されたETレベル2以上の要員にて作業を実施している。

なお、認定された要員については、特別点検の作業員名簿にて管理している。

「非破壊検査技術者(NDI)ET-電磁誘導検査」の欄に●の記載があるものが試験員または試験評価員に該当する従事者である。

添付-6：ノズルコーナー部ECT 作業員名簿

添付-7：炉内計装筒ECT 作業員名簿

○解析結果について

ノズルコーナー部におけるECTは、クラッド部の透磁率変化に起因するノイズ信号の影響が大きいことから、JEAG4217の「必要に応じ磁気飽和機能を備えてもよい」との記載に従い、通常型に加えMAG型を適用している。

これは、通常型で得られた信号に透磁率変化に起因すると思われるノイズ信号が認められた場合に、MAG型で得られた信号との比較を行い透磁率変化に起因するノイズ信号かどうかの識別を容易に実施するためである。

一方、炉内計装筒は母材内面であり、透磁率変化に起因するノイズ信号が小さいことから通常型のみ適用している。

以上の手法により得られた信号を解析した結果、ノズルコーナー部、炉内計装筒内面に有意な欠陥は認められなかった。

添付-8：ノズルコーナー部ECT検査記録(抜粋)

添付-9：炉内計装筒ECT検査記録(抜粋)

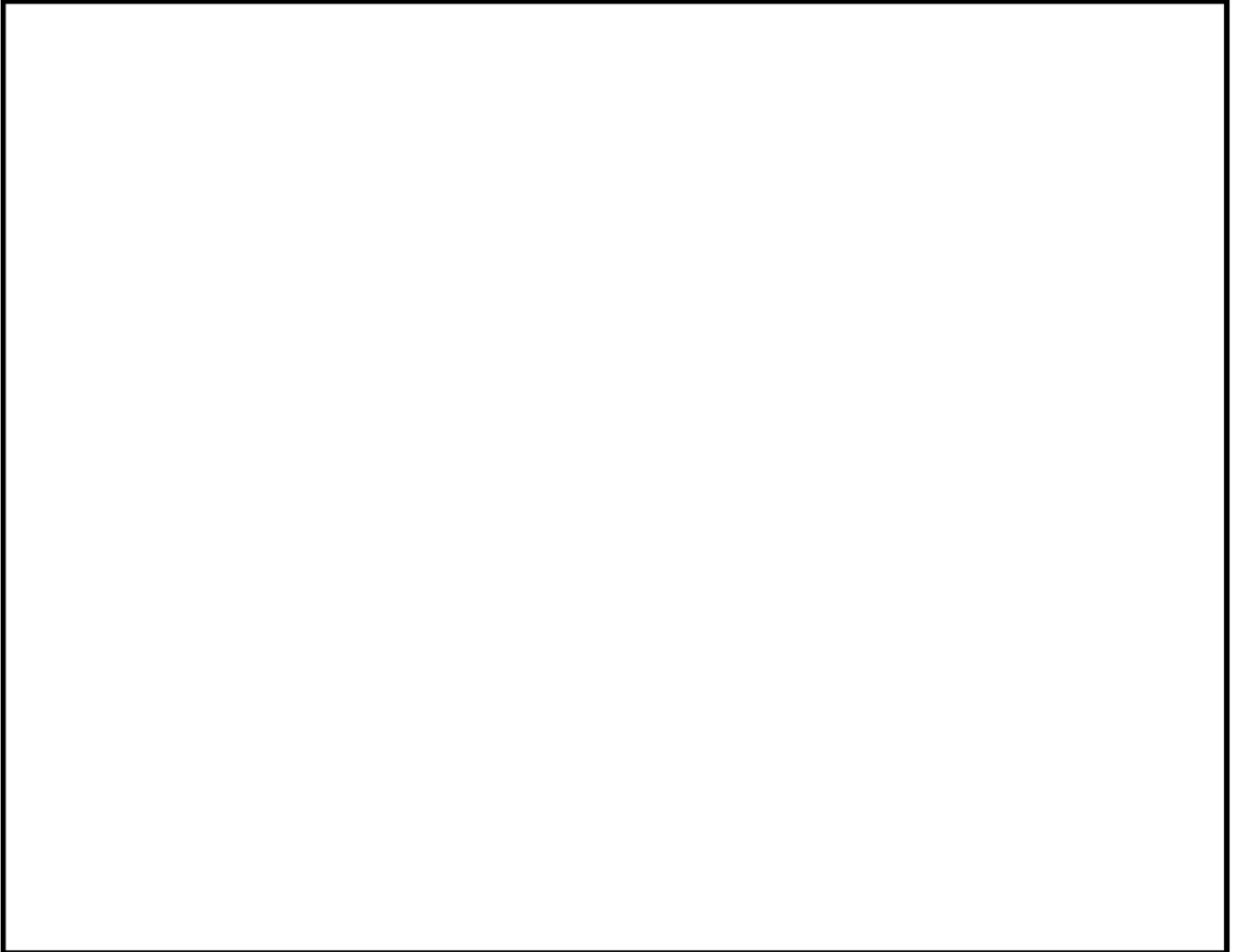
ノズルコーナー部ECT 欠陥検出性確認方法及び結果について

1. 確認方法

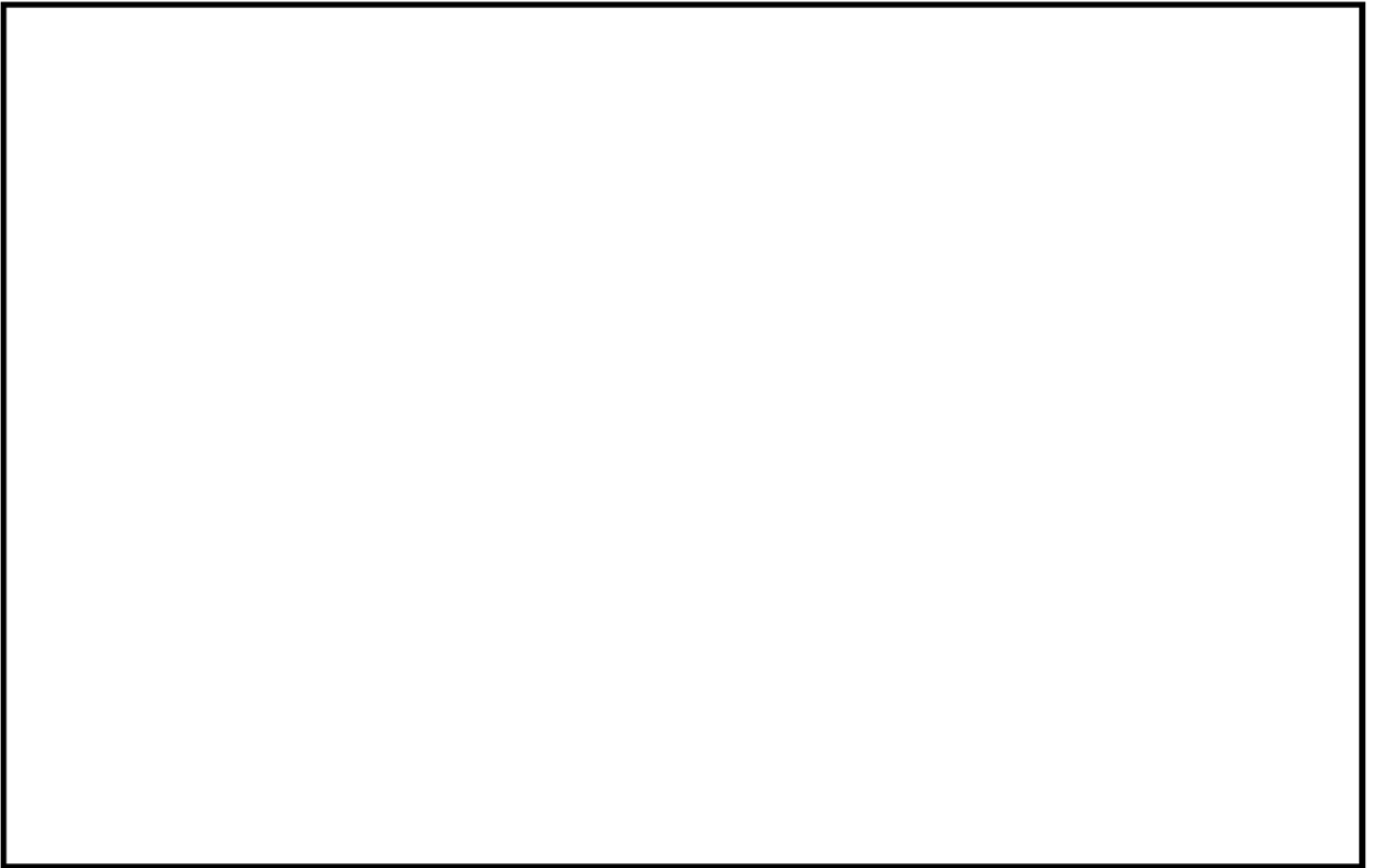
1.1 適用プローブ



1.2 適用モックアップ



内は商業機密に属しますので公開できません。



2. 欠陥検出性確認結果



以上



内は商業機密に属しますので公開できません。

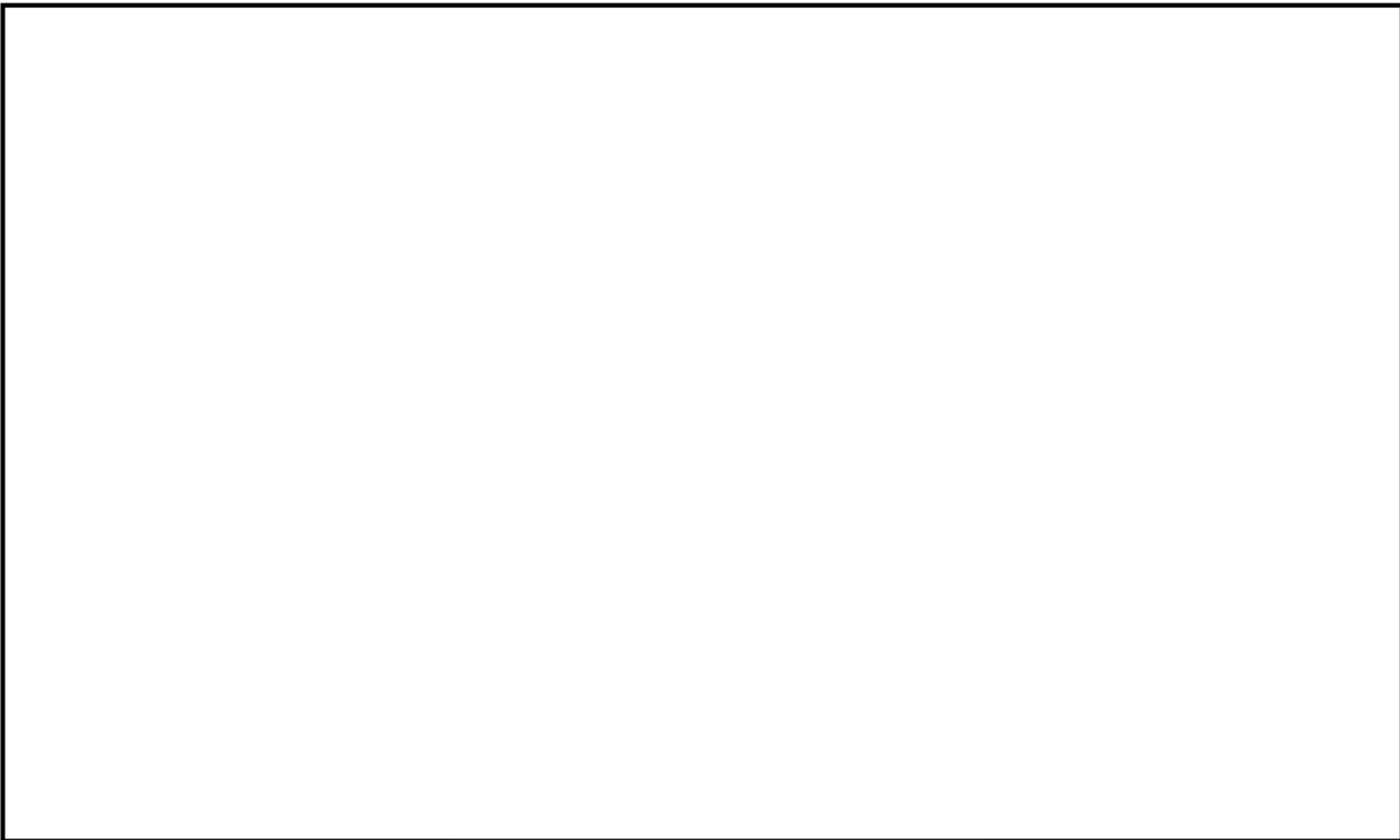
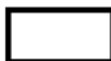
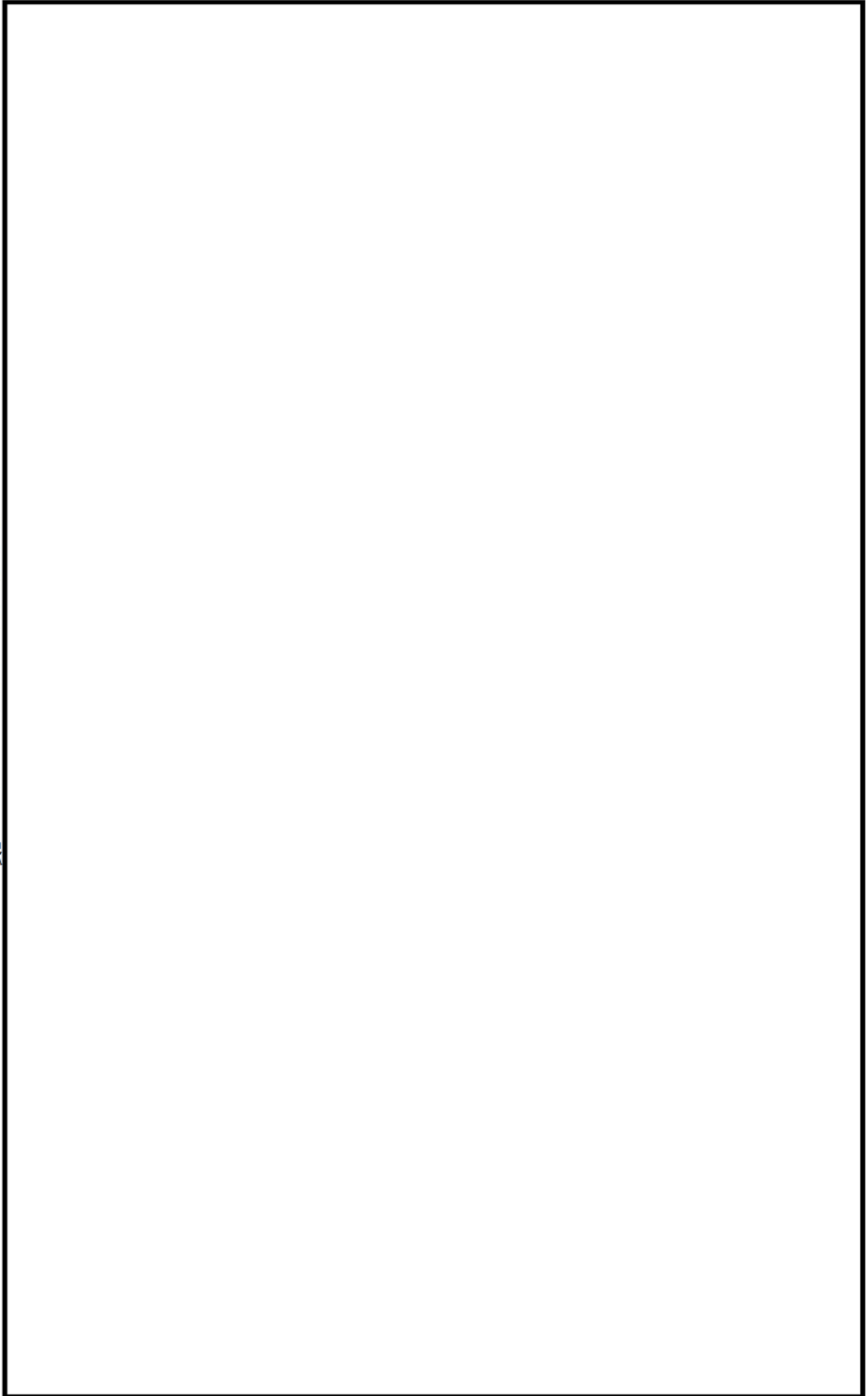


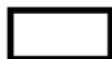
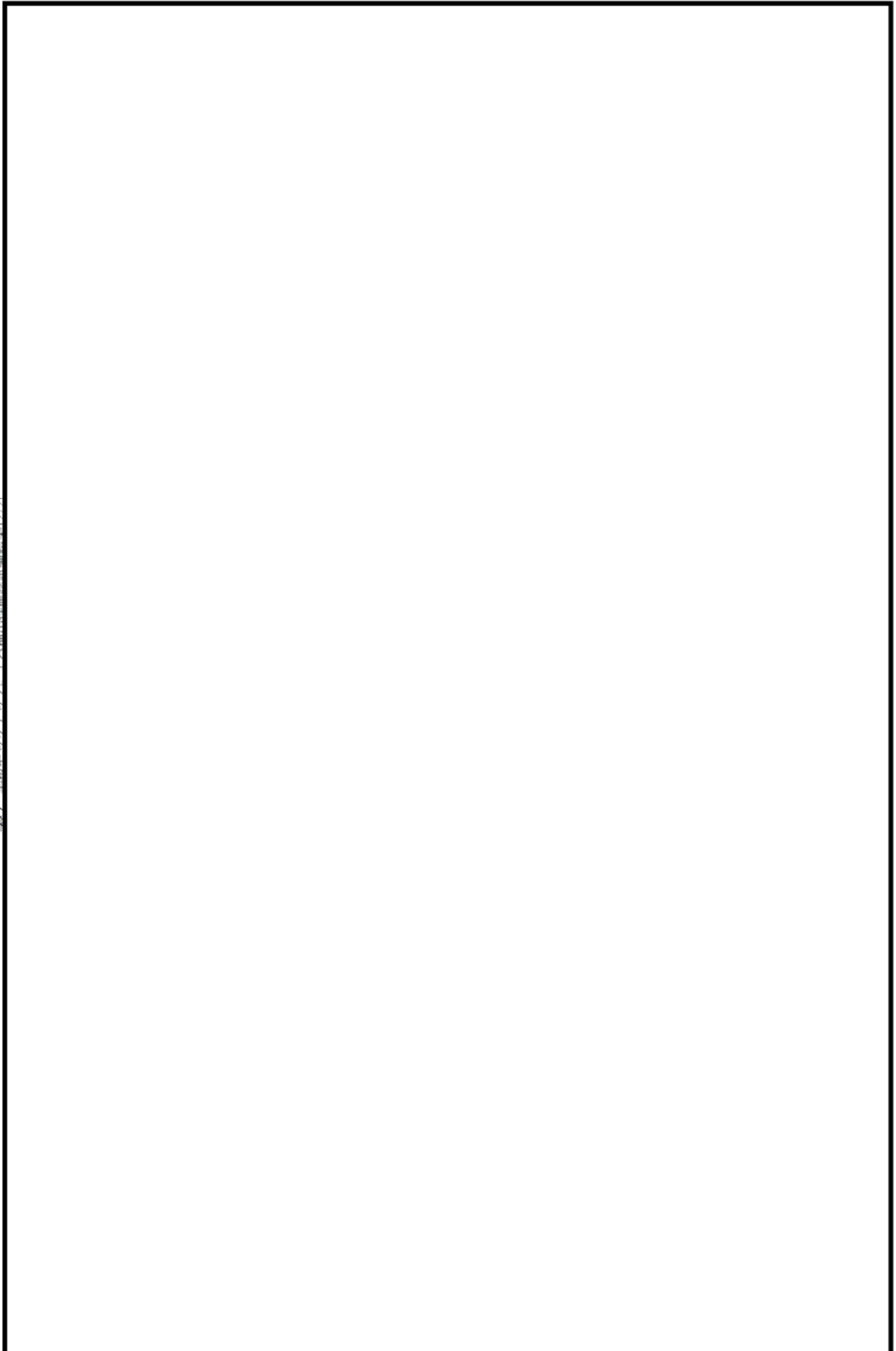
図3 疲労割れ付与後PT結果及び破壊(破面開放)調査結果

表2 平板モックアップによる検出性確認試験結果 (1/2)



内は商業機密に属しますので公開できません。

表9. 平野エンジニアリング株式会社検査記録簿(2/2)



内は商業機密に属しますので公開できません。

TD-B9002 Rev. 2 0028-0808-04

渦流探傷器校正証明書

三菱重工業株式会社 エネルギー・環境部門 原子力事業部 殿

品名	デジタル式渦流探傷器
型式	
メーカー名	
製造番号	
依頼元管理番号	
周辺温度/湿度	23.0°C / 41.0%
校正実施年月日	平成26年12月3日
有効期限	平成27年12月2日

上記の探傷器は、下表に掲げる指針に従って精度を確認した結果、所定の基準に合格したことを証明します。

本校正試験に使用した計測器は、特定標準器(国家標準)にトレーサブルな標準器を用いて校正されています。

精度確認項目	精度確認方法	校正基準
周波数精度 (周波数確度)	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に従い±5%以内
位相弁別精度 (位相角直線性)	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に従い90±3度以内
周波数応答精度	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に従い±2%以内
増幅直線性精度 (増幅直線性)	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に従い±2%以内
増幅精度	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に従い±5%以内



承認	審査	試験員

- 805 -

内は商業機密に属しますので公開できません。

TD-B0002 Rev. 2 0020-0808-04

渦流探傷器校正証明書

三菱重工業株式会社 エネルギー・環境ドメイン 原子力事業部 殿

品名	デジタル式渦流探傷器
型式	
メーカー名	
製造番号	
依頼元管理番号	
周辺温度/湿度	23.0°C / 41.0%
校正実施年月日	平成26年12月3日
有効期限	平成27年12月2日

上記の探傷器は、下表に掲げる指針に従って精度を確認した結果、所定の基準に合格したことを証明します。

本校正試験に使用した計測器は、特定標準器(国家標準)にトレーサブルな標準器を用いて校正されています。

精度確認項目	精度確認方法	校正基準
周波数精度 (周波数確度)	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に従い±5%以内
位相弁別精度 (位相角直線性)	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に従い90±3度以内
周波数応答精度	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に従い±2%以内
増幅直線性精度 (増幅直線性)	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に従い±2%以内
増幅精度	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に従い±5%以内



承認	審査	試験員

— 830 —

内は商業機密に属しますので公開できません。

TD-B9002 Rev.2 0030-0808-04

渦流探傷器校正証明書

三菱重工業株式会社 エネルギー・環境メイン 原子力事業部 殿

品名	デジタル式渦流探傷器
型式	
メーカー名	
製造番号	
依頼元管理番号	
周辺温度/湿度	23.0°C / 41.0%
校正実施年月日	平成26年12月3日
有効期限	平成27年12月2日

上記の探傷器は、下表に掲げる指針に従って精度を確認した結果、所定の基準に合格したことを証明します。

本校正試験に使用した計測器は、特定標準器(国家標準)にトレーサブルな標準器を用いて校正されています。

精度確認項目	精度確認方法	校正基準
周波数精度 (周波数確度)	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に従い±5%以内
位相弁別精度 (位相角直線性)	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に従い90±3度以内
周波数応答精度	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に従い±2%以内
増幅直線性精度 (増幅直線性)	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に従い±2%以内
増幅精度	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に従い±5%以内



承認	審査	試験員

内は商業機密に属しますので公開できません。

渦流探傷器校正証明書

三菱重工業株式会社 エネルギー・環境ドメイン 原子力事業部 殿

品名	デジタル式渦流探傷器
型式	
メーカー名	
製造番号	
依頼元管理番号	
周辺温度/湿度	23.0℃ / 41.0%
校正実施年月日	平成26年12月3日
有効期限	平成27年12月2日

上記の探傷器は、下表に掲げる指針に従って精度を確認した結果、所定の基準に合格したことを証明します。

本校正試験に使用した計測器は、特定標準器(国家標準)にトレーサブルな標準器を用いて校正されています。

精度確認項目	精度確認方法	校正基準
周波数精度 (周波数確度)	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に従い±5%以内
位相弁別精度 (位相角直線性)	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に従い90±3度以内
周波数応答精度	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に従い±2%以内
増幅直線性精度 (増幅直線性)	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に従い±2%以内
増幅精度	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に従い±5%以内



承認	審査	試験員

— 2/20 —

内は商業機密に属しますので公開できません。

TD-B9002 Rev. 2 0043-0808-05

渦流探傷器校正証明書

三菱重工業株式会社 エネルギー・環境ドメイン 原子力事業部 殿

品名	デジタル式渦流探傷器
型式	
メーカー名	
製造番号	
依頼元管理番号	
周辺温度/湿度	24.0°C / 43.0%
校正実施年月日	平成26年10月30日
有効期限	平成27年10月29日

上記の探傷器は、下表に掲げる指針に従って精度を確認した結果、所定の基準に合格したことを証明します。

本校正試験に使用した計測器は、特定標準器(国家標準)にトレーサブルな標準器を用いて校正されています。

精度確認項目	精度確認方法	校正基準
周波数精度 (周波数確度)	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に従い±5%以内
位相弁別精度 (位相角直線性)	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に従い90±3度以内
周波数応答精度	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に従い±2%以内
増幅直線性精度 (増幅直線性)	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に従い±2%以内
増幅精度	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に従い±5%以内



承認	審査	試験員

205

内は商業機密に属しますので公開できません。

渦流探傷器校正証明書

三菱重工業株式会社 エネルギー・環境部門 原子力事業部 殿

品名	デジタル式渦流探傷器
型式	
メーカー名	
製造番号	
依頼元管理番号	
周辺温度/湿度	24.0°C / 43.0%
校正実施年月日	平成26年10月30日
有効期限	平成27年10月29日

上記の探傷器は、下表に掲げる指針に従って精度を確認した結果、所定の基準に合格したことを証明します。

本校正試験に使用した計測器は、特定標準器(国家標準)にトレーサブルな標準器を用いて校正されています。

精度確認項目	精度確認方法	校正基準
周波数精度 (周波数確度)	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に従い±5%以内
位相弁別精度 (位相角直線性)	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に従い90±3度以内
周波数応答精度	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に従い±2%以内
増幅直線性精度 (増幅直線性)	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に従い±2%以内
増幅精度	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に従い±5%以内



承認	審査	試験員

内は商業機密に属しますので公開できません。

渦流探傷器校正証明書

三菱重工業株式会社 エネルギー・環境ドメイン 原子力事業部 殿

品名	デジタル式渦流探傷器
型式	
メーカー名	
製造番号	
依頼元管理番号	
周辺温度/湿度	24.0°C / 43.0%
校正実施年月日	平成26年10月30日
有効期限	平成27年10月29日

上記の探傷器は、下表に掲げる指針に従って精度を確認した結果、所定の基準に合格したことを証明します。

本校正試験に使用した計測器は、特定標準器(国家標準)にトレーサブルな標準器を用いて校正されています。

精度確認項目	精度確認方法	校正基準
周波数精度 (周波数確度)	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に従い±5%以内
位相弁別精度 (位相角直線性)	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に従い90±3度以内
周波数応答精度	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に従い±2%以内
増幅直線性精度 (増幅直線性)	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に従い±2%以内
増幅精度	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に従い±5%以内

承認	審査	試験員

955

内は商業機密に属しますので公開できません。

渦流探傷器校正証明書

三菱重工業株式会社 エネルギー・環境ドメイン 原子力事業部 殿

品 名	デジタル式渦流探傷器
型 式	
メーカ名	
製造番号	
依頼元管理番号	
周辺温度 / 湿度	24.0°C / 43.0%
校正実施年月日	平成26年10月30日
有効期限	平成27年10月29日

上記の探傷器は、下表に掲げる指針に従って精度を確認した結果、所定の基準に合格したことを証明します。

本校正試験に使用した計測器は、特定標準器(国家標準)にトレーサブルな標準器を用いて校正されています。

精度確認項目	精度確認方法	校正基準
周波数精度 (周波数確度)	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に従い±5%以内
位相弁別精度 (位相角直線性)	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に従い90±3度以内
周波数応答精度	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に従い±2%以内
増幅直線性精度 (増幅直線性)	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に従い±2%以内
増幅精度	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に従い±5%以内

承認	審査	試験員

980

内は商業機密に属しますので公開できません。

TD-R9002 Rev 2 0038-0808-04

渦流探傷器校正証明書

三菱重工業株式会社 エネルギー・環境ドメイン 原子力事業部 殿

品名	デジタル式渦流探傷器
型式	
メーカー名	
製造番号	
依頼元管理番号	
周辺温度 / 湿度	23.0°C / 45.0%
校正実施年月日	平成26年10月27日
有効期限	平成27年10月26日

上記の探傷器は、下表に掲げる指針に従って精度を確認した結果、所定の基準に合格したことを証明します。

本校正試験に使用した計測器は、特定標準器(国家標準)にトレーサブルな標準器を用いて校正されています。

精度確認項目	精度確認方法	校正基準
周波数精度 (周波数確度)	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に従い±5%以内
位相弁別精度 (位相角直線性)	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に従い90±3度以内
周波数応答精度	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に従い±2%以内
増幅直線性精度 (増幅直線性)	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 (JEAG 4217-2010) に従い±2%以内
増幅精度	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に準拠	JEAG 4208-1996 JEAG 4208-2005 に従い±5%以内



承認	審査	試験員

129



内は商業機密に属しますので公開できません。

ECT校正記録

プラント：関西電力(株)高浜発電所 2号機

探傷部位：ボロノスルカ部
 探傷器：型式 [] No. []
 探傷子：(通常型) 磁気飽和型 No. [] 対比試験片：No. L9-8ZF033-2
 試験員(資格)： [] 記録員(資格)： []

検査後		検査前	
関西電力殿 H27.3.9 記録確認	三菱重工 H27.3.8工	関西電力殿 H27.3.9 記録確認	三菱重工 H27.3.8工

校正日時	周波数 (kHz)	判定																試験員 (資格)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
3/8 10:50 検査前	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[]
	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	
3/8 15:24 検査後	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[]
	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	

- ・検査前は、感度が3.00V、位相角が165°に満たしているかを確認し、レ点と判定を記載する。(想定事象により、探傷システムを交換した場合を含む。)
 - ・検査後は、開始前に設定した基準感度および位相角と比較して、感度は±2dB以内、位相角は±5°以内であることを確認し、レ点と判定を記載する。
- 感度±2dB以内の判定式：2dB ≧ 20 × log₁₀(探傷後感度/探傷前感度) ≧ -2dB
 参考：開始前の感度が3.00Vであった場合の±2dBの範囲は、3.77V~2.39Vの範囲である。

[] 内は商業機密に属しますので公開できません。

ECT校正記録

プラント：関西電力(株) 高浜発電所 2号機

探傷部位：ホルミタルセキ部
 探傷器：型式 [] No. []
 探傷子：通常型 (磁気飽和型) N []
 試験員 (資格)： [] 記録員 (資格)： []
 対比試験片：No. L9-01FK053-2

検査後		検査前	
関西電力 H27.3.9 記録確認	三菱重工 H27.3.8I	関西電力 H27.3.9 記録確認	三菱重工 H27.3.8I

校正日時	周波数 (kHz)	判定	試験員 (資格)
3/8 10:50 検査前	✓	✓	良
	✓	✓	
	✓	✓	
	✓	✓	
	✓	✓	
	✓	✓	
	✓	✓	
	✓	✓	
	✓	✓	
	✓	✓	
3/8 15:24 検査後	✓	✓	良
	✓	✓	
	✓	✓	
	✓	✓	
	✓	✓	
	✓	✓	
	✓	✓	
	✓	✓	
	✓	✓	
	✓	✓	

・検査前は、感度が3.00V、位相角が165°に満たしているかを確認し、レ点と判定を記載する。(想定事象により、探傷システムを交換した場合を含む。)
 ・検査後は、開始前比に設定した基準感度および位相角と比較して、感度は±2dB以内、位相角は±5°以内であることを確認し、レ点と判定を記載する。
 感度±2dB以内の判定式：2dB ≥ 20 × log₁₀(探傷後感度/探傷前感度) ≥ -2dB
 参考：開始前の感度が3.00Vであった場合の±2dBの範囲は、3.77V～2.39Vの範囲である。

[] 内は商業機密に属しますので公開できません。

ECT校正記録

プラント：関西電力(株) 高浜発電所 2号機

探傷部位：

探傷器：型式

探傷子：通常型 磁気飽和型 No.

試験員 (資格)：

対比試験片：No.

試験員 (資格)

検査後		検査前	
関西電力殿	三菱重工	関西電力殿	三菱重工
H27.3.9 記録確認	H27.3.8 I <input type="checkbox"/>	H27.3.9 記録確認	H27.3.8 I <input type="checkbox"/>

校正日時	周波数 (kHz)	判定	試験員 (資格)	検査結果															
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
3 / 8 17 : 21 検査前	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
3 / 8 18 : 54 検査後	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		

・検査前は、感度が3.00V、位相角が165°に満たしているかを確認し、レ点と判定を記載する。(想定事象により、探傷システムを交換した場合を含む。)

・検査後は、開始前に設定した基準感度および位相角と比較して、感度は±2dB以内、位相角は±5°以内であることを確認し、レ点と判定を記載する。

感度±2dB以内の判定式： $2dB \geq 20 \times \log_{10}(\text{探傷後感度} / \text{探傷前感度}) \geq -2dB$

参考：開始前の感度が3.00Vであった場合の±2dBの範囲は、3.77V~2.39Vの範囲である。

内は商業機密に属しますので公開できません。

ECTY校正記録

プラント：関西電力(株) 高浜発電所 2号機

探傷部位：出口/スリット部
 探傷器：型式 [] No. []
 探傷子：通常型 磁気録音機 N [] 対比試験片：No. LG-P2Pk053-2
 試験員(資格) [] 記録員(資格) []

検査後		検査前	
関西電力	三菱重工	関西電力	三菱重工
H27.3.9 記録確認	H27.3.8I	H27.3.9 記録確認	H27.3.8I

校正日時	周波数 (kHz)	判定												試験員 (資格)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
3 / 8 17 : 21 検査前	3	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[]
	8	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	
5 / 8 18 : 54 検査後	3	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[]
	8	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	

・検査前は、感度が3.00V、位相角が165°に満たしているかを確認し、レ点と判定を記載する。(想定事象により、探傷システムを交換した場合を含む。)
 ・検査後は、開始前に設定した基準感度および位相角と比較して、感度は±2dB以内、位相角は±5°以内であることを確認し、レ点と判定を記載する。
 感度±2dB以内の判定式：2dB ≧ 20 × log₁₀(探傷後感度 / 探傷前感度) ≧ -2dB
 参考：開始前の感度が3.00Vであった場合の±2dBの範囲は、3.77V～2.33Vの範囲である。

[] 内は商業機密に属しますので公開できません。

ECT校正記録

プラント：関西電力(株) 高浜発電所 2号機

探傷部位：出口ノズル丸み部
 探傷器：型式 []
 探傷子：(通常型) 磁気飽和型 N []
 試験員(資格) []
 テイスク名： NC 103
 対比試験片 - No. 19-821 K053-2
 記録員(資格) []

検査後		検査前	
関西電力殿	三菱重工	関西電力殿	三菱重工
H27.3.9 記録確認	H27.3.8Ⅱ	H27.3.9 記録確認	H27.3.8Ⅱ
[]	[]	[]	[]

校正日時	周波数 (kHz)	判定	試験員 (資格)
3 / 8 21:59 検査前	✓	良	[]
	✓		
	✓		
	✓		
	✓		
	✓		
	✓		
	✓		
	✓		
	✓		
3 / 8 23:14 検査後	✓	良	[]
	✓		
	✓		
	✓		
	✓		
	✓		
	✓		
	✓		
	✓		
	✓		

・検査前は、感度が3.00V、位相角が165°に満たしているかを確認し、レ点と判定を記載する。(想定事象により、探傷システムを交換した場合を含む。)
 ・検査後は、開始前と設定した基準感度および位相角と比較して、感度は±2dB以内、位相角は±5°以内であることを確認し、レ点と判定を記載する。
 感度±2dB以内の判定式：2dB ≧ 20 × log₁₀(探傷後感度 / 探傷前感度) ≧ -2dB
 参考：開始前の感度が3.00Vであった場合の±2dBの範囲は、3.77V～2.38Vの範囲である。

[] 内は商業機密に属しますので公開できません。

ECT校正記録

プラント：関西電力(株) 高浜発電所 2号機

探傷部位：出口スクリュー下部
 探傷器：型式 No. ディスケット No. N/C / 03
 探傷子：通常型 (磁気飽和型) No. 対比探傷片：No. L9-82 R K053-2
 試験員 (資格) 記録員 (資格)

検査後		検査前	
関西電力殿	三菱重工	関西電力殿	三菱重工
H27.3.9 記録/確認	H27.3.8 II	H27.3.9 記録/確認	H27.3.8 II
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

校正日時	周波数 (kHz)	判定																試験員 (資格)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16		
3/8		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	<input type="text"/>
21:59 検査前		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	<input type="text"/>
3/8		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	<input type="text"/>
23:14 検査後		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	<input type="text"/>

・検査前は、感度が3.00V、位相角が165°に満たしていないかを確認し、レ点と判定を記載する。(想定事象により、探傷システムを交換した場合を含む。)
 ・検査後は、開始前に設定した基準感度および位相角と比較して、感度は±2dB以内、位相角は±5°以内であることを確認し、レ点と判定を記載する。
 感度±2dB以内の判定式：2dB ≧ 20 × Log₁₀ (探傷後感度 / 探傷前感度) ≧ -2dB
 参考：開始前の感度が3.00Vであった場合の±2dBの範囲は、3.77V～2.39Vの範囲である。

内は商業機密に属しますので公開できません。

ECT校正記録

プラント：関西電力(株) 高浜発電所 2号機

探傷部位：入口バルブホースポート部 ディスク名：NC(04)
 探傷器：型式 []
 探傷子：(直線型) 磁気飽和型 No. [] 対比試験片 - No. 29-82FK053-2
 試験員(資格) [] 記録員(資格) []

検査後		検査前	
関西電力殿	三菱重工	関西電力殿	三菱重工
H27.3.9 記録確認	H27.3.8 II	H27.3.9 記録確認	H27.3.8 II

校正日時	周波数 (kHz)	判定										試験員 (資格)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
3/9 1:51 検査前	[]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[]
		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
3/9 3:37 検査後	[]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[]	
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良		
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			

・検査前は、感度が3.00V、位相角が165°に満たしているかを確認し、レ点と判定を記載する。(想定事象により、探傷システムを交換した場合を含む。)
 ・検査後は、開始前に設定した基準感度および位相角と比較して、感度は±2dB以内、位相角は±5°以内であることを確認し、レ点と判定を記載する。
 感度±2dB以内の判定式：2dB ≧ 20×log₁₀(探傷後感度/探傷前感度) ≧ -2dB
 参考：開始前の感度が3.00Vであった場合の±2dBの範囲は、3.77V~2.39Vの範囲である。

[] 内は商業機密に属しますので公開できません。

ECT校正記録

プラント：関西電力(株) 高浜発電所 2号機

探傷部位：入ロ/スルホミ+ストレータ部 ディスク名：NC104
 探傷器：型式 []
 探傷子：通常型 (磁気飽和型) No. [] 対比試験片：No. L7-82FK053-2
 試験員 (資格) [] 記録員 (資格) []

検査後		検査前	
関西電力	三菱重工	関西電力	三菱重工
H27.3.9 記録簿記	H27.3.8 II []	H27.3.9 記録簿記	H27.3.8 II []

校正日時	周波数 (kHz)	判定	試験員 (資格)
3/9 1:51 検査前	✓	良	[]
	✓		
	✓		
	✓		
	✓		
	✓		
	✓		
	✓		
	✓		
	✓		
3/9 3:37 検査後	✓	良	[]
	✓		
	✓		
	✓		
	✓		
	✓		
	✓		
	✓		
	✓		
	✓		

・検査前は、感度が3.00V、位相角が165°に満たしているかを確認し、レ点と判定を記載する。(想定事象により、探傷システムを交換した場合を含む。)
 ・検査後は、開始前に設定した基準感度および位相角と比較して、感度は±2dB以内、位相角は±5°以内であることを確認し、レ点と判定を記載する。
 感度±2dB以内の判定式：2dB ≧ 20 × log₁₀ (探傷後感度 / 探傷前感度) ≧ -2dB
 参考：開始前の感度が3.00Vであった場合の±2dBの範囲は、3.77V~2.39Vの範囲である。

[] 内は商業機密に属しますので公開できません。

ECT校正記録

プラント：関西電力(株) 高浜発電所 2号機

探傷部位：入口/スルホカ + ストレート部
 デイスク名： NC105
 探傷器： 型式 [] N []
 探傷子： (電流型) 磁気飽和型 M []
 試験員 (資格) [] 記録員 (資格) []
 対比試験片・No. L9-82FK053-2

検査後		検査前	
関西電力株	三菱重工	関西電力株	三菱重工
H27.3.9 記録確認 []	H27.3.8 II []	H27.3.9 記録確認 []	H27.3.8 II []

校正日時	周波数 (kHz)	判定																試験員 (資格)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16		
3/9 3:41 検査前	[]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[]
3/9 5:44 検査後	[]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[]

・検査前は、感度が3.00V、位相角が165°に満たしていないかを確認し、レ点と判定を記載する。(想定事象により、探傷システムを交換した場合を含む。)
 ・検査後は、開始前比=設定した基準感度および位相角と比較して、感度は±2dB以内、位相角は±5°以内であることを確認し、レ点と判定を記載する。
 感度±2dB以内の判定式：2dB ≧ 20 × log₁₀(探傷後感度/探傷前感度) ≧ -2dB
 参考：開始前の感度が3.00Vであった場合の±2dBの範囲は、3.77V~2.38Vの範囲である。

[] 内は商業機密に属しますので公開できません。

ECT校正記録

プラント：関西電力(株) 高浜発電所 2号機

探傷部位：入射方向が165°に満たしているかを確認し、レ点と判定を記載する。(想定事象により、探傷システムを交換した場合を含む。) 探傷器：型式 No. [] 対比試験片：No. L9-824K053-2 探傷子：通常型 (探傷角度) No. [] 記録員 (資格)： [] 試験員 (資格)： []

検査後		検査前	
関西電力殿	三菱重工	関西電力殿	三菱重工
H27.3.9 記録確認	H27.3.8 II	H27.3.9 記録確認	H27.3.8 II

校正日時	周波数 (kHz)	判定												試験員 (資格)		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
3 / 9 3 : 41 検査前	[]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[]
		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[]
3 / 9 5 : 44 検査後	[]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[]
		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[]

・検査前は、感度が3.00V、位相角が165°に満たしているかを確認し、レ点と判定を記載する。(想定事象により、探傷システムを交換した場合を含む。)
 ・検査後は、開始前に設定した基準感度および位相角と比較して、感度は±2dB以内、位相角は±5°以内であることを確認し、レ点と判定を記載する。
 感度±2dB以内の判定式：2dB ≧ 20 × log₁₀(探傷後感度 / 探傷前感度) ≧ -2dB
 参考：開始前の感度が3.00Vであった場合の±2dBの範囲は、3.77V~2.39Vの範囲である。

[] 内は商業機密に属しますので公開できません。

ECT校正記録

プラント：関西電力(株) 高浜発電所 2号機

探傷部位：入ロノビ丸み + ストレート部 デイスカタ. N.C.106

探傷器：型式 No.

探傷子：(通電型) 磁気飽和型 No. 対比試験片：No. L9-8-Fk053-2

試験員 (資格) 記録員 (資格)

検査後		検査前	
関西電力殿	三菱重工	関西電力殿	三菱重工
H27.3.9 記録簿	H27.3.8 II	H27.3.9 記録簿	H27.3.8 II

校正日時	周波数 (kHz)	判定										試験員 (資格)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
3/19 6:52 検査前	1	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良
	2	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
3/19 7:44 検査後	1	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良
	2	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	

・検査前は、感度が3.00V、位相角が165°に満たしているかを確認し、レ点と判定を記載する。(想定事象により、探傷システムを交換した場合を含む。)

・検査後は、開始前に設定した基準感度および位相角と比較して、感度は±2dB以内、位相角は±5°以内であることを確認し、レ点と判定を記載する。

感度±2dB以内の判定式：2dB ≥ 20 × log₁₀(探傷後感度/探傷前感度) ≥ -2dB

参考：開始前時の感度が3.00Vであった場合の±2dBの範囲は、3.77V~2.39Vの範囲である。

内は商業機密に属しますので公開できません。

検査後		検査前	
関西電力殿	三菱重工	関西電力殿	三菱重工
H27.3.9 社印確認	H27.3.8 II	H27.3.9 記録確認	H27.3.8 II

ECT校正記録

プラント：関西電力(株) 高浜発電所 2号機

探傷部位：入口/スリルねみ+ストリート部 デイスク名：NC106
 探傷器：型式 [] No. []
 探傷子：通常型 磁気飽和型 No. [] 対比試験片：No. L9-82FK053-2
 試験員(資格) [] 記録員(資格) []

校正日時	周波数 (kHz)											判定	試験員 (資格)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
3/9 6:52 検査前	1	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[]
	2	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
	3	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
	4	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
	5	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
3/9 7:44 検査後	1	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[]	
	2	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
	3	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
	4	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
	5	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			

・検査前は、感度が3.00V、位相角が165°に満たしているかを確認し、レ点と判定を記載する。(想定事象により、探傷システムを交換した場合を含む。)
 ・検査後は、開始前に設定した基準感度および位相角と比較して、感度は±2dB以内、位相角は±5°以内であることを確認し、レ点と判定を記載する。
 感度±2dB以内の判定式：2dB ≧ 20 × log₁₀(探傷後感度/探傷前感度) ≧ -2dB
 参考：開始前の感度が3.00Vであった場合の±2dBの範囲は、3.77V~2.39Vの範囲である。

[] 内は商業機密に属しますので公開できません。

ECT校正記録

プラント：関西電力(株) 高浜発電所 2号機

探傷部位：入ロ付シフト部
 探傷器：型式 [] デイスカ名：NC107
 探傷子：(通常型) 磁気飽和型 No. [] 対比試験片：No. L7-82FK-053-2
 試験員(資格)： [] 記録員(資格) []

検査後		検査前	
関西電力殿	三菱重工	関西電力殿	三菱重工
H27.3.10 記録確認	H27.3.9 []	H27.3.10 記録確認	H27.3.9 []

校正日時	周波数 (kHz)	判定	試験員 (資格)
3/9 9:24 検査前	[]	良	[]
	[]		
	[]		
	[]		
	[]		
	[]		
	[]		
	[]		
	[]		
	[]		
3/9 10:26 検査後	[]	良	[]
	[]		
	[]		
	[]		
	[]		
	[]		
	[]		
	[]		
	[]		
	[]		

・検査前は、感度が3.00V、位相角が165°に満たしているかを確認し、レ点と判定を記載する。(想定事象により、探傷システムを交換した場合を含む。)
 ・検査後は、開始前に設定した基準感度および位相角と比較して、感度は±2dB以内、位相角は±5°以内であることを確認し、レ点と判定を記載する。
 感度±2dB以内の判定式：2dB ≥ 20 × log₁₀(探傷後感度/探傷前感度) ≥ -2dB
 参考：開始前の感度が3.00Vであった場合の±2dBの範囲は、3.77V~2.39Vの範囲である。

[] 内は商業機密に属しますので公開できません。

ECT校正記録

プラント：関西電力(株)高浜発電所 2号機

探傷部位：入口バルブ用 1 スロット部 ディスク名： A/C 107
 探傷器：型式 []
 探傷子：通常型(磁気飽和型) No. [] 対比試験片：No. Z9-825K 0.5S-2
 試験員(資格)： [] 記録員(資格) []

検査後		検査前	
関西電力殿	三菱重工	関西電力殿	三菱重工
H27.3.10 記録確認	H27.3.9 E []	H27.3.10 記録確認	H27.3.9 I []

校正日時	周波数 (kHz)	判定																試験員 (資格)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16		
3/9 9:24 検査前		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[]
3/9 10:26 検査後		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[]

・検査前は、感度が3.00V、位相角が165°に満たしているかを確認し、レ点と判定を記載する。(想定事象により、探傷システムを交換した場合を含む。)
 ・検査後は、開始前に設定した基準感度および位相角と比較して、感度は±2dB以内、位相角は±5°以内であることを確認し、レ点と判定を記載する。
 感度±2dB以内の判定式：2dB ≥ 20 × 1.0g₁₀(探傷後感度/探傷前感度) ≥ -2dB
 参考：開始前の感度が3.00Vであった場合の±2dBの範囲は、3.77V~2.39Vの範囲である。

[] 内は商業機密に属しますので公開できません。

ECT校正記録

プラント：関西電力(株) 高浜発電所 2号機

探傷部位：入ロズビルキャプテイト部
 ディスク名： NC-108
 探傷器：型式 []
 探傷子：(標準型) 磁気飽和型 N []
 試験員(資格)： [] 記録員(資格)： []
 対比試験片：No. LY-82FKがS-2

検査後		検査前	
関西電力殿	三菱重工	関西電力殿	三菱重工
H27.3.10 記録確認	H27.3.9 I	H27.3.10 記録確認	H27.3.9 I

校正日時	周波数 (kHz)	判定										試験員 (資格)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
3/9 11:02 検査前	[]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[]
		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
3/9 13:18 検査後	[]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[]	
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			

・検査前は、感度が3.00V、位相角が165°に満たしていないかを確認し、レ点と判定を記載する。(想定事象により、探傷システムを交換した場合を含む。)
 ・検査後は、開始前に設定した基準感度および位相角と比較して、感度は±2dB以内、位相角は±5°以内であることを確認し、レ点と判定を記載する。
 感度±2dB以内の判定式：2dB ≧ 20 × log₁₀(探傷後感度/探傷前感度) ≧ -2dB
 参考：開始前の感度が3.00Vであった場合の±2dBの範囲は、3.77V~2.39Vの範囲である。

[] 内は商業機密に属しますので公開できません。

ECT校正記録

プラント：関西電力(株) 高浜発電所 2号機

探傷部位：入口バルブナット部 ディスク名：NC108
 探傷器：型式 N
 探傷子：通常型 (磁気飽和型) N
 試験員(資格)： 記録員(資格)

検査後		検査前	
関西電力	三菱重工	関西電力	三菱重工
H27.3.10 記録確認	H27.3.9 I	H27.3.10 記録確認	H27.3.9 I

校正日時	周波数 (kHz)	判定										試験員 (資格)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
3/9 11:02 検査前	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	<input type="text"/>
	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	
	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	
	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	
	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	
3/9 13:18 検査後	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	<input type="text"/>
	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	
	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	
	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	
	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	

・検査前は、感度が3.00V、位相角が165°に満たしているかを確認し、レ点と判定を記載する。(想定事象により、探傷システムを交換した場合を含む。)
 ・検査後は、開始前=設定した基準感度および位相角と比較して、感度は±2dB以内、位相角は±5°以内であることを確認し、レ点と判定を記載する。
 感度±2dB以内の判定式：2dB ≧ 20×log₁₀(探傷後感度/探傷前感度) ≧ -2dB
 参考：開始前の感度が3.00Vであった場合の±2dBの範囲は、3.77V~2.39Vの範囲である。

内は商業機密に属しますので公開できません。

ECT校正記録

プラント：関西電力(株)高浜発電所 2号機

探傷部位：Aロビイロ部
 探傷器：型式 []
 探傷子：(通電型) 磁気飽和型 N []
 試験員(資格)： [] 記録員(資格)： []
 対比試験片：No. L9-82FK-033-2

検査後		検査前	
関西電力殿	三菱重工	関西電力殿	三菱重工
H27.3.9	H27.3.9 I	H27.3.9	H27.3.9 I
[]	[]	[]	[]

校正日時	周波数 (Hz)	判定	試験員 (資格)		
5/9	14:25	良	[]		
検査前					
3/9	15:03			良	[]
検査後					

・検査前は、感度が3.00V、位相角が165°に満たしているかを確認し、レ点と判定を記載する。(想定事象により、探傷システムを交換した場合を含む。)
 ・検査後は、開始前に設定した基準感度および位相角と比較して、感度は±2dB以内、位相角は±5°以内であることを確認し、レ点と判定を記載する。
 感度±2dB以内の判定式：2dB ≥ 20 × Log₁₀(探傷後感度/探傷前感度) ≥ -2dB
 参考：開始前の感度が3.00Vであった場合の±2dBの範囲は、3.77V~2.39Vの範囲である。

[] 内は商業機密に属しますので公開できません。

ECT校正記録

プラント：関西電力(株) 高浜発電所 2号機

探傷部位：入口バルブみみサステッド部 デノスケ名：NC109
 探傷器：型式 []
 探傷子：通常型 (探傷器型) No. [] 対比試験片：No. LY-82FK053-2
 試験員(資格)： [] 記録員(資格) []

検査後		検査前	
関西電力殿	三菱重工	関西電力殿	三菱重工
H27.3.9	H27.3.9	H27.3.9	H27.3.9
[]	[]	[]	[]

校正日時	周波数 (kHz)	判定										試験員 (資格)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
3/9 14:25 検査前	[]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[]
		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良		
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良		
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良		
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良		
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良		
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良		
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良		
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良		

・検査前は、感度が3.00V、位相角が165°に満たしているかを確認し、レ点と判定を記載する。(想定事象により、探傷システムを交換した場合を含む。)
 ・検査後は、開始前値と設定した基準感度および位相角と比較して、感度は±2dB以内、位相角は±5°以内であることを確認し、レ点と判定を記載する。
 感度±2dB以内の判定式：2dB ≥ 20 × Log₁₀(探傷後感度 / 探傷前感度) ≥ -2dB
 参考：開始前の感度が3.00Vであった場合の±2dBの範囲は、3.77V～2.39Vの範囲である。

[] 内は商業機密に属しますので公開できません。

ECT校正記録

プラント：関西電力(株) 高浜発電所 2号機

探傷部位：入口バルブカサネメント部 デイスク名：ALC111
 探傷器：型式 []
 探傷子：通電型 磁気的印型 No. [] 対比試験片：No. I 9-P2FK 053-2
 試験員(資格)： [] 記録員(資格) []

検査後		検査前	
関西電力殿	三菱重工	関西電力殿	三菱重工
H27.3.10 記録確認	H27.3.9E []	H27.3.10 記録確認	H27.3.9E []

校正日時	周波数 (kHz)	判定																試験員 (資格)			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16				
3/9 17:48 検査前	3	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[]		
	4	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良		[]	
	5	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良			[]
	6	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良			
3/9 19:55 検査後	3	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[]		
	4	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良		[]	
	5	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良			[]
	6	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良			

・検査前は、感度が3.00V、位相角が165°に満たしているかを確認し、レ点と判定を記載する。(想定事象により、探傷システムを交換した場合を含む。)
 ・検査後は、開始前に設定した基準感度および位相角と比較して、感度は±2dB以内、位相角は±5°以内であることを確認し、レ点と判定を記載する。
 感度±2dB以内の判定式：2dB ≧ 20×Log₁₀(探傷後感度/探傷前感度) ≧ -2dB
 参考：開始前の感度が3.00Vであった場合の±2dBの範囲は、3.77V～2.39Vの範囲である。

[] 内は商業機密に属しますので公開できません。

ECT校正記録

プラント：関西電力(株) 高浜発電所 2号機

探傷部位：A.D.スルレれみ+ズレト部 ディスク名：NC111

探傷器：型式

探傷子：通常型 磁気飽和度 No

試験員(資格)：

対比試験片：No. L9-P2FK053.2
記録員(資格)

検査後		検査前	
関西電力殿	三菱重工	関西電力殿	三菱重工
H27.3.10 記録確認	H27.3.9 E	H27.3.10 記録確認	H27.3.9 E

校正日時	周波数 (kHz)	判定										試験員 (資格)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
3/9 17:48 検査前	[Redacted]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[Redacted]
		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良
3/9 19:55 検査後	[Redacted]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[Redacted]
		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良

・検査前は、感度が3.00V、位相角が165°に満たしているかを確認し、レ点と判定を記載する。(想定事象により、探傷システムを交換した場合を含む。)
 ・検査後は、開始前に設定した基準感度および位相角と比較して、感度は±2dB以内、位相角は±5°以内であることを確認し、レ点と判定を記載する。
 感度±2dB以内の判定式：2dB ≧ 20 × log₁₀(探傷後感度/探傷前感度) ≧ -2dB
 参考：開始前の感度が3.00Vであった場合の±2dBの範囲は、3.77V~2.39Vの範囲である。

[Redacted] 内は商業機密に属しますので公開できません。

ECT校正記録

プラント：関西電力(株) 高浜発電所 2号機

探傷部位：入ロ/カクハカ+ストレーター
 ディスク名： NC112
 探傷器： 型式 []
 探傷子： (通常型) 磁気飽和型 No. [] 対比試験片： No. ET-82HK053-2
 試験員 (資格)： [] 記録員 (資格)： []

検査後		検査前	
関西電力殿	三菱重工	関西電力殿	三菱重工
H27.3.10 記録確認	H27.3.9日	H27.3.10 記録確認	H27.3.9日

校正日時	周波数 (Hz)	判定	試験員 (資格)
3/9 21:13 検査前	✓	良	[]
	✓		
	✓		
	✓		
	✓		
	✓		
	✓		
	✓		
	✓		
	✓		
3/10 1:01 検査後	✓	良	[]
	✓		

・検査前は、感度が3.00V、位相角が165°に満たしているかを確認し、レ点と判定を記載する。(想定事象により、探傷システムを交換した場合を含む。)
 ・検査後は、開始前に設定した基準感度および位相角と比較して、感度は±2dB以内、位相角は±5°以内であることを確認し、レ点と判定を記載する。
 感度±2dB以内の判定式：2dB ≧ 20 × Log₁₀(探傷後感度/探傷前感度) ≧ -2dB
 参考：開始前の感度が3.00Vであった場合の±2dBの範囲は、3.77V～2.39Vの範囲である。

[] 内は商業機密に属しますので公開できません。

ECT校正記録

プラント：関西電力(株) 高浜発電所 2号機

探傷部位：入口バルブキャブポート部 N/C 112
 探傷器：型式
 探傷子：通常型 (感気種別) 対比試験片：No. L7-82 HK 053-2
 試験員(資格)： 記録員(資格)：

検査後		検査前	
関西電力殿	三菱重工	関西電力殿	三菱重工
H27.3.10 記録簿記	H27.3.9 II <input type="text"/>	H27.3.10 記録簿記	H27.3.9 II <input type="text"/>

校正日時	周波数 (kHz)	判定																試験員 (資格)
3/9 21:13 検査前	[Redacted]	[Redacted]																[Redacted]
3/10 1:01 検査後	[Redacted]	[Redacted]																[Redacted]

- ・検査前は、感度が3.00V、位相角が165°に満たしているかを確認し、レ点と判定を記載する。(想定事象により、探傷システムを交換した場合を含む。)
 - ・検査後は、開始前に設定した基準感度および位相角と比較して、感度は±2dB以内、位相角は±5°以内であることを確認し、レ点と判定を記載する。
感度±2dB以内の判定式：2dB ≧ 20 × log₁₀(探傷後感度/探傷前感度) ≧ -2dB
- 参考：開始前の感度が3.00Vであった場合の±2dBの範囲は、3.77V~2.39Vの範囲である。

内は商業機密に属しますので公開できません。

ECT校正記録

プラント：関西電力(株) 高浜発電所 2号機

探傷部位：炉心スラムナー点検(本機) ニスノカ名：NC207
 探傷器：型式 [] No. []
 探傷子：(直溝型) 磁気飽和型 M [] 対比試験片：No. L9-82FK050
 試験員(資格) [] 記録員(資格)： []

検査後		検査前	
関西電力殿	三菱重工	関西電力殿	三菱重工
H27.3.13 記録確認	H27.3.12Ⅱ	H27.3.13 記録確認	H27.3.12Ⅱ
[]	[]	[]	[]

校正日時	周波数 (kHz)	判定																				試験員 (資格)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
3/12	21:46	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[]
3/13	6:25	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[]
	検査前	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
	検査後	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		

・検査前は、感度が3.00V、位相角が165°に満たしているかを確認し、レ点と判定を記載する。(想定事象により、探傷システムを交換した場合を含む。)
 ・検査後は、開始前に設定した基準感度および位相角と比較して、感度は±2dB以内、位相角は±5°以内であることを確認し、レ点と判定を記載する。
 感度±2dB以内の判定式：2dB ≧ 20×log₁₀(探傷後感度/探傷前感度) ≧ -2dB
 参考：開始前の感度が3.00Vであった場合の±2dBの範囲は、3.77V～2.39Vの範囲である。

[] 内は商業機密に属しますので公開できません。

ECT校正記録

プラント：関西電力(株) 高浜発電所 2号機

探傷部位：炉内ドレンコック 内部 器具名： No.207

探傷器：型式 []

探傷子：通管型 磁気飽和型 N [] 対比試験片：No.17-22FK050

試験員(資格) [] 記録員(資格) []

検査後		検査前	
関西電力殿	三菱重工	関西電力殿	三菱重工
H27.3.13 記録確認	H27.3.12Ⅱ	H27.3.13 記録確認	H27.3.12Ⅱ
[]	[]	[]	[]

校正日時	周波数 (kHz)	判定																試験員 (資格)					
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16						
3/12 21:46 検査前	[]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良
		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
3/13 6:25 検査後	[]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良
		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

・検査前は、感度が3.00V、位相角が165°に満たしているかを確認し、レ点と判定を記載する。(想定事象により、探傷システムを交換した場合を含む。)
 ・検査後は、開始前に設定した基準感度および位相角と比較して、感度は±2dB以内、位相角は±5°以内であることを確認し、レ点と判定を記載する。
 感度±2dB以内の判定式：2dB ≥ 20×log₁₀(探傷後感度/探傷前感度) ≥ -2dB
 参考：開始前の感度が3.00Vであった場合の±2dBの範囲は、3.77V~2.39Vの範囲である。

[] 内は商業機密に属しますので公開できません。

ECT校正記録

プラント：関西電力(株)高浜発電所 2号機

探傷部位：炉内圧力容器 高浜炉内圧力容器 No. 92-82-FK050
 探傷器：型式 []
 探傷子：(電位型) 磁気飽和型 N []
 試験員(資格)： [] 記録員(資格)： []

検査後		検査前	
関西電力殿	三菱重工	関西電力殿	三菱重工
H27.3.13 記録確認	H27.3.13 記録確認	H27.3.13 記録確認	H27.3.12 []

校正日時	周波数 (kHz)	判定																				試験員 (資格)		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20			
3/13 6:06 検査前	[]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[]
3/13 14:18 検査後	[]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[]

・検査前は、感度が3.00V、位相角が165°に満たしているかを確認し、レ点と判定を記載する。(想定事象により、探傷システムを交換した場合を含む。)
 ・検査後は、開始前に設定した基準感度および位相角と比較して、感度は±2dB以内、位相角は±5°以内であることを確認し、レ点と判定を記載する。
 感度±2dB以内の判定式：2dB ≧ 20 × log₁₀(探傷後感度/探傷前感度) ≧ -2dB
 参考：開始前の感度が3.00Vであった場合の±2dBの範囲は、3.77V~2.36Vの範囲である。

[] 内は商業機密に属しますので公開できません。

ECT校正記録

プラント：関西電力(株) 高浜発電所 2号機

探傷部位：炉内スリコナー凸部位置(ボルト) No. 208

探傷器：型式 [] 対比試験片：No. 19-82 Fk050

探傷子：通常型 磁気飽和型 N [] 記録員(資格)： []

試験員(資格) []

検査後		検査前	
関西電力殿	三菱重工	関西電力殿	三菱重工
H27.3.13 記録確認	H27.3.13 E []	H27.3.13 記録確認	H27.3.13 E []

校正日時	周波数 (kHz)	判定																				試験員 (資格)	
		良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良			
3/13 6:06 検査前	[]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[]
3/13 14:20 検査後	[]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[]

・検査前は、感度が3.00V、位相角が165°に満たしているかを確認し、レ点と判定を記載する。(想定事象により、探傷システムを交換した場合を含む。)
 ・検査後は、開始前に設定した基準感度および位相角と比較して、感度は±2dB以内、位相角は±5°以内であることを確認し、レ点と判定を記載する。
 感度±2dB以内の判定式：2dB ≥ 20 × log₁₀(探傷後感度/探傷前感度) ≥ -2dB
 参考：開始前の感度が3.00Vであった場合の±2dBの範囲は、3.77V~2.39Vの範囲である。

[] 内は商業機密に属しますので公開できません。

ECT校正記録

プラント：関西電力(株)高浜発電所 2号機

探傷部位：炉内/炉外-J-7-炉内型 装置名：NC 209

探傷器：型

探傷子：(通常型)磁気飽和型

試験員(資格)： 対比試験員：No. 19-80 Ek-050
記録員(資格)

検査後		検査前	
関西電力 H27.3.16 記録確認	三菱重工 H27.3.15 II	関西電力 H27.3.16 記録確認	三菱重工 H27.3.13 I

校正日時	周波数 (kHz)	判定																		試験員 (資格)
		1		2		3		4		5		6		7		8		9		
3/13 15:35 検査前	[Redacted]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	[Redacted]
		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
3/14 0:09 検査後	[Redacted]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	[Redacted]
		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	

・検査前は、感度が3.00V、位相角が165°に満たしているかを確認し、レ点と判定を記載する。(想定事象により、探傷システムを交換した場合を含む。)

・検査後は、開始前に設定した基準感度および位相角と比較して、感度は±2dB以内、位相角は±5°以内であることを確認し、レ点と判定を記載する。

感度±2dB以内の判定式：2dB ≥ 20 × log₁₀(探傷後感度/探傷前感度) ≥ -2dB

参考：開始前の感度が3.00Vであった場合の±2dBの範囲は、3.77V～2.39Vの範囲である。

[Redacted] 内は商業機密に属しますので公開できません。

ECT校正記録

プラント：関西電力(株) 高浜発電所 2号機

探傷部位：サロワルコナ 炉心内筒
 探傷器：型番 []
 探傷子：通常型 (磁気印形) N []
 試験員 (資格)： []
 対比試験片：No. L9 []

検査後		検査前	
関西電力殿	三菱重工	関西電力殿	三菱重工
H27.3.16 記録確認	H27.3.13Ⅱ	H27.3.16 記録確認	H27.3.13Ⅱ

校正日時	周波数 (kHz)	判定	試験員 (資格)
3/13 15:37 検査前	[]	良	[]
		良	[]
		良	[]
		良	[]
		良	[]
		良	[]
		良	[]
		良	[]
		良	[]
		良	[]
		良	[]
		良	[]
		良	[]
3/14 0:09 検査後	[]	良	[]
		良	[]
		良	[]
		良	[]
		良	[]
		良	[]
		良	[]
		良	[]
		良	[]
		良	[]
		良	[]
		良	[]
		良	[]

・検査前は、感度が3.00V、位相角が165°に満たしているかを確認し、レ点と判定を記載する。(想定事象により、探傷システムを交換した場合を含む。)
 ・検査後は、開始前と設定した基準感度および位相角と比較して、感度は±2dB以内、位相角は±5°以内であることを確認し、レ点と判定を記載する。
 感度±2dB以内の判定式：2dB ≥ 20 × log₁₀(探傷後感度/探傷前感度) ≥ -2dB
 参考：開始前の感度が3.00Vであった場合の±2dBの範囲は、3.77V～2.39Vの範囲である。

[] 内は商業機密に属しますので公開できません。

ECT校正記録

プラント：関西電力(株) 高浜発電所 2号機

探傷部位：ボルト/スクリュー/ナット 器具名：NC710
 探傷器：型番 No. []
 探傷子：通帯型 磁気飽和型 対比試験片：No. L9 []
 試験員(資格) [] 記録員(資格) []

検査後		検査前	
関西電力	三菱重工	関西電力	三菱重工
H27.3.16 記録確認	H27.3.13 II []	H27.3.16 記録確認	H27.3.13 II []

校正日時	判定																				試験員(資格)	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
3/14 0:28 検査前	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[]
3/14 3:02 検査後	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[]

- ・検査前は、感度が3.00V、位相角が165°に満たしているかを確認し、レ点と判定を記載する。(想定事象により、探傷システムを交換した場合を含む。)
- ・検査後は、開始前に設定した基準感度および位相角と比較して、感度は±2dB以内、位相角は±5°以内であることを確認し、レ点と判定を記載する。
感度±2dB以内の判定式：2dB ≧ 20×log₁₀(探傷後感度/探傷前感度) ≧ -2dB
- 参考：開始前の感度が3.00Vであった場合の±2dBの範囲は、3.77V~2.39Vの範囲である。

[] 内は商業機密に属しますので公開できません。

ECT校正記録

プラント：関西電力(株) 高浜発電所 2号機

探傷部位：ボルト・ナット・母線(母線) 位置名：NCZ10
 探傷器：型式 [] No. []
 探傷子：通常型 (磁気飽和型) 対比記録用：No. 17-8-1K050
 試験員 (資格)： [] 記録員 (資格)： []

検査後		検査前	
関西電力	三菱重工	関西電力	三菱重工
H27.3.16 記録確認	H27.3.13Ⅱ []	H27.3.16 記録確認	H27.3.13Ⅱ []

校正日時	周波数 (Hz)	判定																				試験員 (資格)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
3/14 0:28 検査前	[]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[]
		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
3/14 3:02 検査後	[]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	良	[]
		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	

・検査前は、感度が3.00V、位相角が165°に満たしているかを確認し、レ点と判定を記載する。(想定事象により、探傷システムを交換した場合を含む。)
 ・検査後は、開始前に設定した基準感度および位相角と比較して、感度は±2dB以内、位相角は±5°以内であることを確認し、レ点と判定を記載する。
 感度±2dB以内の判定式：2dB ≧ 20 × log₁₀ (探傷後感度 / 探傷前感度) ≧ -2dB
 参考：開始前の感度が3.00Vであった場合の±2dBの範囲は、3.77V～2.39Vの範囲である。

[] 内は商業機密に属しますので公開できません。

平成27年3月26日 直

5)-(5)-03

ECT校正記録 (1/5)

管台番号 (7/4)	確認 時間	周波数 (dB)								探傷器 番号	プローブ 番号	探傷員 (認記バ)	三菱 (認記バ)	関電	備考 (確認時期等)
		感度	位相	感度	位相	感度	位相	感度	位相						
50 (A-9)	14:13	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	立会・記録確認 3/27	前CAL
46 (B-5)	16:38	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	立会・記録確認 3/27	後CAL
29 (C-8)	17:00	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	立会・記録確認 3/27	前CAL
44 (C-12)	17:42	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	立会・記録確認 3/27	後CAL
()														立会・記録確認	
()														立会・記録確認	
()														立会・記録確認	
()														立会・記録確認	

試験片 No. G3-0/EE010-1

開始前条件確認は感度：3.00V, 位相角：165° になっていることを確認の上、「良」と記載する。
終了後条件確認は開始前の感度±2dB, 位相角：±5° の許容値内になっていることを確認の上、「良」と記載する。



194
内は商業機密に属しますので公開できません。

5)-(5)-03

ECT校正記録 (2/5)

平成27年3月26日 直

管台番号 (7下)	確認 時間	周波数 (kHz)								探傷器 番号	プローブ番号	探傷員 (認証バ)	三菱 (認証バ)	電 源	備 考 (確認時期等)
		感度	位相	感度	位相	感度	位相	感度	位相						
34 (4-12)	21:28	良	良	良	良	良	良	良	良					立会・記録確認 3/27	前 CAL
17 (4-7)	22:44	良	良	良	良	良	良	良	良					立会・記録確認 3/27	後 CAL
28 (4-5)	01:56	良	良	良	良	良	良	良	良					立会・記録確認 3/27	前 CAL
17 (4-9)	04:35	良	良	良	良	良	良	良	良					立会・記録確認 3/27	後 CAL
()														立会・記録確認	
()														立会・記録確認	
()														立会・記録確認	
()														立会・記録確認	

試験片 No. G3-01E010-

開始前条件確認は感度：3.00V，位相角：165° になっていることを確認の上、「良」と記載する。
終了後条件確認は開始前の感度±2dB，位相角：±5° の許容値内になっていることを確認の上、「良」と記載する。



内は商業機密に属しますので公開できません。

5)-(5)-03

ECT校正記録(3/5)

平成27年3月27日 直

管台番号 (7以内)	確認 時間	測定数(回)								探傷器 番号	測定番号	探傷員 (認定番号)	三菱 (認定番号)	関電	備考 (確認時期等)
		測定	測定	測定	測定	測定	測定	測定	測定						
5 (F-8)	09:28	良	良	良	良	良	良	良	良					立会・ <u>記録確認</u> 3/27	前CAL
39 (F-2)	10:48	良	良	良	良	良	良	良	良					立会・ <u>記録確認</u> 3/27	後CAL
2 (4-7)	14:06	良	良	良	良	良	良	良	良					立会・ <u>記録確認</u> 3/27	前CAL
38 (4-14)	15:50	良	良	良	良	良	良	良	良					立会・ <u>記録確認</u>	
9 (H-11)	16:46	良	良	良	良	良	良	良	良					立会・ <u>記録確認</u> 3/28	後CAL
4 (H-6)	17:03	良	良	良	良	良	良	良	良					立会・ <u>記録確認</u> 3/28	前CAL
27 (H-3)	17:52	良	良	良	良	良	良	良	良					立会・ <u>記録確認</u> 3/28	後CAL
()											()	()		立会・ <u>記録確認</u>	

試験片 No. 43-0/EE0/0-1

開始前条件確認は感度：3.00V，位相角：165° になっていることを確認の上、「良」と記載する。
終了後条件確認は開始前の感度±2dB，位相角：±5° の許容値内になっていることを確認の上、「良」と記載する。

内は商業機密に属しますので公開できません。

5)-(5)-03

ECT校正記録(4/5)

平成27年3月27日 直

管台番号 (炉内)	確認 時間	探傷器 番号								探傷員 (認証番号)	三菱 (認証番号)	電 関	備考 (確認時期等)
		感度	位相	感度	位相	感度	位相	感度	位相				
48 (H-1)	21:29	良	良	良	良	良	良	良	良	[Redacted]	[Redacted]	立会・記録確認 3/28	前CAL
12 (I-5)	22:46	良	良	良	良	良	良	良	良	[Redacted]	[Redacted]	立会・記録確認 3/28	後CAL
1 (J-7)	01:57	良	良	良	良	良	良	良	良	[Redacted]	[Redacted]	立会・記録確認 3/28	前CAL
13 (L-6)	04:32	良	良	良	良	良	良	良	良	[Redacted]	[Redacted]	立会・記録確認 3/28	後CAL
19 (L-7)	04:58	良	良	良	良	良	良	良	良	[Redacted]	[Redacted]	立会・記録確認 3/28	前CAL
26 (L-4)	05:33	良	良	良	良	良	良	良	良	[Redacted]	[Redacted]	立会・記録確認 3/28	後CAL
()										()	()	立会・記録確認	
()										()	()	立会・記録確認	

試験片 No. G-3-01EE010-1

開始前条件確認は感度：3.00V，位相角：165° になっていることを確認の上、「良」と記載する。
終了後条件確認は開始前の感度±2dB，位相角：±5° の許容値内になっていることを確認の上、「良」と記載する。

199
[Redacted] 内は商業機密に属しますので公開できません。

5)-(5)-03

ECT校正記録(5/5)

平成27年3月28日[直]

管台番号 (以下)	確認 時間	周波数40Hz						探傷器 番号	プロブ番号	探傷員 (認証番号)	三菱 (認証番号)	関電	備考 (確認時期等)
		感度	位相	感度	位相	感度	位相						
42 (M-3)	09:35	良	良	良	良	良	良				立会・記録確認 3/28	前CAL	
35 (N-5)	10:12	良	良	良	良	良	良				立会・記録確認		
25 (N-8)	11:06	良	良	良	良	良	良				立会・記録確認 3/30	後CAL	
32 (N-10)	14:05	良	良	良	良	良	良				立会・記録確認 3/30	前CAL	
47 (R-8)	14:58	良	良	良	良	良	良				立会・記録確認 3/30	後CAL	
()									()	()	立会・記録確認		
()									()	()	立会・記録確認		
()									()	()	立会・記録確認		

試験片 No. G3-01E010-1

開始前条件確認は感度：3.00V、位相角：165° になっていることを確認の上、「良」と記載する。
終了後条件確認は開始前の感度±2dB、位相角：±5° の許容値内になっていることを確認の上、「良」と記載する。

内は商業機密に属しますので公開できません。

1. JEAG4217-2010 一般要求事項への適合性確認

第2章 試験要領(抜粋)

2340 記録・解析装置

(2)デジタル表示

- a. 試験に用いる試験周波数のリサージュ波形を7ビット以上の分解能で表示できること。

リサージュ波形画面は、試験周波数により得られた信号を選択表示することができる。

⇒(図-1(a)、図-2、図-3、図-4、図-5)

また、使用するモニタの画素数は1280×1024ビットであり、得られた信号のリサージュ波形表示画面において、7ビット(128画素)以上の解像度で表示可能である。

⇒(図-1(b))

- b. 試験に用いる試験周波数のX成分振幅チャート表示、Y成分振幅チャート表示又は全振幅チャート表示を6ビット以上の分解能で選択表示できること。

チャート波形表示画面では、各信号のX成分振幅チャート及びY成分振幅チャートを選択表示可能である。

⇒(図-1(c))

また、使用するモニタの画素数は1280×1024ビットであり、得られた信号のX・Y成分振幅チャート表示画面において、6ビット(64画素)以上の解像度で表示可能である。

⇒(図-1(d))

- c. Cスコープ表示ができること。Cスコープ表示はX成分振幅、Y成分振幅又は全振幅から選択でき、16段階以上の階調表示ができること。

Cスコープ表示画面にて、X成分振幅表示、Y成分振幅表示の選択表示が可能である。

⇒(図-6、図-7)

また、色調表示は、16段階以上に表示させる機能を有している。

⇒(図-8)

以上

作業員名簿兼必要資格一覧表

所属会社	会社コード	請負体系	職種	年齢	個人番号	資格名	必要資格	作業従事者名及び保有資格	職歴教育	遵守事項教育	非破壊検査技術者 (NDI) ET: 電磁誘導検査	原子炉容器 (検査) 監督 A 級	超音波検査	その他	備考	
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	技師													
			技師													
			技師													
			技師													
			技師													
			技師													
			技師													
			技師													
			技師													
			技師													
			技師													
			技師													
			技師													
			技師													
			技師													
			技師													
			技師													

1. 必要資格欄 - 当工事の作業において必要とされる資格に○を、記入する。(一般仕様書、工事仕様書、関係法令に基づく)
 2. 所重資格欄 - 作業従事者の所有する資格に●を記入する。(資格が必要な作業に従事する者は必須)
 3. 定期事業者検査は、検査員A (検査の判定基準内に有ることの確認を行う)、検査員B (判定基準内への確認のうち、「弁の開閉」、「警報の発信」等の軽易な確認を行う)の区分で○を記入する。

[Redacted] 内は商業機密に属しますので公開できません。

作業員名簿兼必要資格一覧表

高浜発電所2号機 第一回定検 工事コード 工事件名 平成27年1月12日 請負会社 三菱重工業

所属会社	会社コード	請負体系	職種	年齢	個人番号	資格名	必要資格	作業従事者名 及び 保有資格	資格取得状況	備考
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	技師	[Redacted]	[Redacted]	原子炉容器（検）	監督A級	監督A級	○	備
			技師	[Redacted]	[Redacted]	非破壊検査技術者（NDI）	ET：電磁誘導検査	●		
			技師	[Redacted]	[Redacted]	非破壊検査技術者（NDI）	UT：超音波検査	●		
			技師	[Redacted]	[Redacted]	遠隔監視教育		○		
			技師	[Redacted]	[Redacted]	遠隔監視教育		○		
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	技師	[Redacted]	[Redacted]	資格名				
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	技師	[Redacted]	[Redacted]	必要資格				
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	技師	[Redacted]	[Redacted]	作業従事者名及び保有資格				
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	技師	[Redacted]	[Redacted]					
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	技師	[Redacted]	[Redacted]					
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	技師	[Redacted]	[Redacted]					
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	技師	[Redacted]	[Redacted]					

1. 必要資格欄 一当工事の作業において必要とされる資格に○を、記入する。（一般仕様書、工事仕様書、関係法令に基づく）
2. 所要資格欄 一作業従事者の所有する資格に●を記入する。（資格が必要な作業に従事する者は必須）
3. 定期事業者検査は、検査員A（検査の判定基準内に有ることの確認を行う）、検査員B（判定基準内への確認のうち、「弃の開閉」、「警報の発信」等の軽易な確認を行う）の区分で○を記入する。

[Redacted] 内は商業機密に属しますので公開できません。

作業員名簿兼必要資格一覧表

平成27年1月12日 三菱重工 請負会社

高浜発電所 2号機	工事コード	工事名	所属会社	会社コード	請負体系	職種	年齢	個人番号	資格名	必要資格	作業従事者名及び保有資格	技師	技師	技師	技師	技師	技師	技師	技師	技師	技師
									破砕検査技術者 (NDI) ET: 電磁誘導検査				●								
									定期事業者検査員A				●								
									構造検査技術者 (NDI) UT: 超音波検査					●							
									橋心 (グループリーダ)						●						
									キーパーソン						●						
									護守事項教育						●						
									機長教育												
									備考												

記入要領
1. 必要資格欄-当工事の作業において必要とされている資格に○を記入する。(一般社様書、工事仕様書、関係法令に基づく)
2. 所有資格欄-作業従事者の所有する資格に●を記入する。(資格が必要な作業に従事する者は必須)
3. 定期事業者検査員は、検査員A(検査の判定基準内にあることの確認を行う)、検査員B(判定基準内への確認のうら、「井の開閉」、「警報の発信」等の軽易な確認を行う)の区分で○を記入する。



内は商業機密に属しますので公開できません。

平成27年1月30日

調査会社 三菱重工業

作業員名簿兼必要資格一覧表

高浜発電所2号機 第一回点検	工事件名	所属会社	会社コード	請負体系	職種	年齢	個人番号	資格名	必要資格	作業従事者名及び保有資格	備考
		三菱重工業			技師			原子炉容器監督A級	原子炉容器監督A級		製造会社監督責任者技能確認書による
		三菱重工業			技師			非破壊検査技師(NDI)ET...電磁誘導検査			
		三菱重工業			技師			定期事業者検査員A			
		三菱重工業			技師			監査員			
		三菱重工業			技師			原子炉容器監督A級			
		三菱重工業			技師						
		三菱重工業			技師						
		三菱重工業			技師						
		三菱重工業			技師						
		三菱重工業			技師						
		三菱重工業			技師						
		三菱重工業			技師						
		三菱重工業			技師						
		三菱重工業			技師						
		三菱重工業			技師						
		三菱重工業			技師						
		三菱重工業			技師						
		三菱重工業			技師						
		三菱重工業			技師						
		三菱重工業			技師						
		三菱重工業			技師						
		三菱重工業			技師						
		三菱重工業			技師						

記入要領

- 必要資格欄 一 当工事の作業において必要とされる資格に○を、記入する。(一般仕様書、工事仕様書、関係法令に基づく)
- 必要資格欄 一 作業従事者の所有する資格に●を記入する。(資格が必要な作業に従事する者は必須)
- 定期事業者検査は、検査員A(検査の判定基準内に有ることの確認を行う)、検査員B(判定基準内への確認のうち、「井の開閉」、「警報の発信」等の特別な確認を行う)の区分で○を記入する。

7
内は商業機密に属しますので公開できません。

作業員名簿兼必要資格一覧表

平成27年1月30日
 株式会社 三菱重工業

所属会社	会社コード	所属会社	年齢	職種	個人番号	資格名 必要資格 作業従事者名 及び 保有資格	備考
三菱重工業		技師				原子炉容器 監督 A 級	非構内従事者
三菱重工業		技師				非構内検査技術者 (NDI) ET . . . 電磁誘導検査	非構内従事者
三菱重工業		技師				非構内検査技術者 (NDI) ET . . . 電磁誘導検査	非構内従事者
三菱重工業		技師				非構内検査技術者 (NDI) ET . . . 電磁誘導検査	非構内従事者
三菱重工業		技師				非構内検査技術者 (NDI) ET . . . 電磁誘導検査	非構内従事者
三菱重工業		技師				非構内検査技術者 (NDI) ET . . . 電磁誘導検査	非構内従事者
三菱重工業		技師				非構内検査技術者 (NDI) ET . . . 電磁誘導検査	非構内従事者
三菱重工業		技師				非構内検査技術者 (NDI) ET . . . 電磁誘導検査	非構内従事者
三菱重工業		技師				非構内検査技術者 (NDI) ET . . . 電磁誘導検査	非構内従事者
三菱重工業		技師				非構内検査技術者 (NDI) ET . . . 電磁誘導検査	非構内従事者
三菱重工業		技師				非構内検査技術者 (NDI) ET . . . 電磁誘導検査	非構内従事者
三菱重工業		技師				非構内検査技術者 (NDI) ET . . . 電磁誘導検査	非構内従事者
三菱重工業		技師				非構内検査技術者 (NDI) ET . . . 電磁誘導検査	非構内従事者
三菱重工業		技師				非構内検査技術者 (NDI) ET . . . 電磁誘導検査	非構内従事者
三菱重工業		技師				非構内検査技術者 (NDI) ET . . . 電磁誘導検査	非構内従事者
三菱重工業		技師				非構内検査技術者 (NDI) ET . . . 電磁誘導検査	非構内従事者
三菱重工業		技師				非構内検査技術者 (NDI) ET . . . 電磁誘導検査	非構内従事者
三菱重工業		技師				非構内検査技術者 (NDI) ET . . . 電磁誘導検査	非構内従事者
三菱重工業		技師				非構内検査技術者 (NDI) ET . . . 電磁誘導検査	非構内従事者
三菱重工業		技師				非構内検査技術者 (NDI) ET . . . 電磁誘導検査	非構内従事者

記入要領
 1. 必要資格欄 一当工事の作業において必要とされる資格に○を、記入する。(一般仕様書、工事仕様書、関係法令に基づく)
 2. 所要資格欄 一作業従事者の所長する資格に●を記入する。(資格が必要な作業に従事する者は必須)
 3. 定期事業者検査は、検査員 A (検査の判定基準内に有ることの確認を行う)、検査員 B (判定基準内への確認のうち、「弁の開閉」、「管線の発掘」等の軽易な確認を行う)の区分で○を記入する。

内は商業機密に属しますので公開できません。

ECT検査記録 (1/2)

確認年月日 平成 27 年 3 月 17 日

確認者

プラント名 : 関西電力株式会社 高浜発電所 2号機

工 事 件 名

検査の対象機器		検査箇所	検査年月日
原子炉容器出口管台 ノズル丸み部		A/B/C ループ	(2/2) 参照
渦電流探傷試験	試験条件	試験員(資格)	試験評価員(資格)
		ECT探傷記録参照 (-)	
	プローブの使用環境	試験周波数 [kHz] ※	
	水中		
校正記録	探傷器管理番号	プローブ管理番号	
		{ 通常型:No } { 磁気飽和型:No }	
	対比試験片管理番号	プローブの使用環境	
	L9-82FK053-2	水中	
検査実施結果	結果	備考	
	良		
評 価 きず等の有意な信号なし			

ECT検査記録(2/2)

探傷部位	検査 年月日	試験評価員(資格)	結果	関西電力		備考
				年月日	確認者	
A 出口管台 ノズル丸み部 □	H27.3.9	□	良	H27.3.17	□	
B 出口管台 ノズル丸み部 □	H27.3.9	□	良	H27.3.17	□	
C 出口管台 ノズル丸み部 □	H27.3.9	□	良	H27.3.17	□	
- 以下空欄 -						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						

良：きず等の有意な信号なし

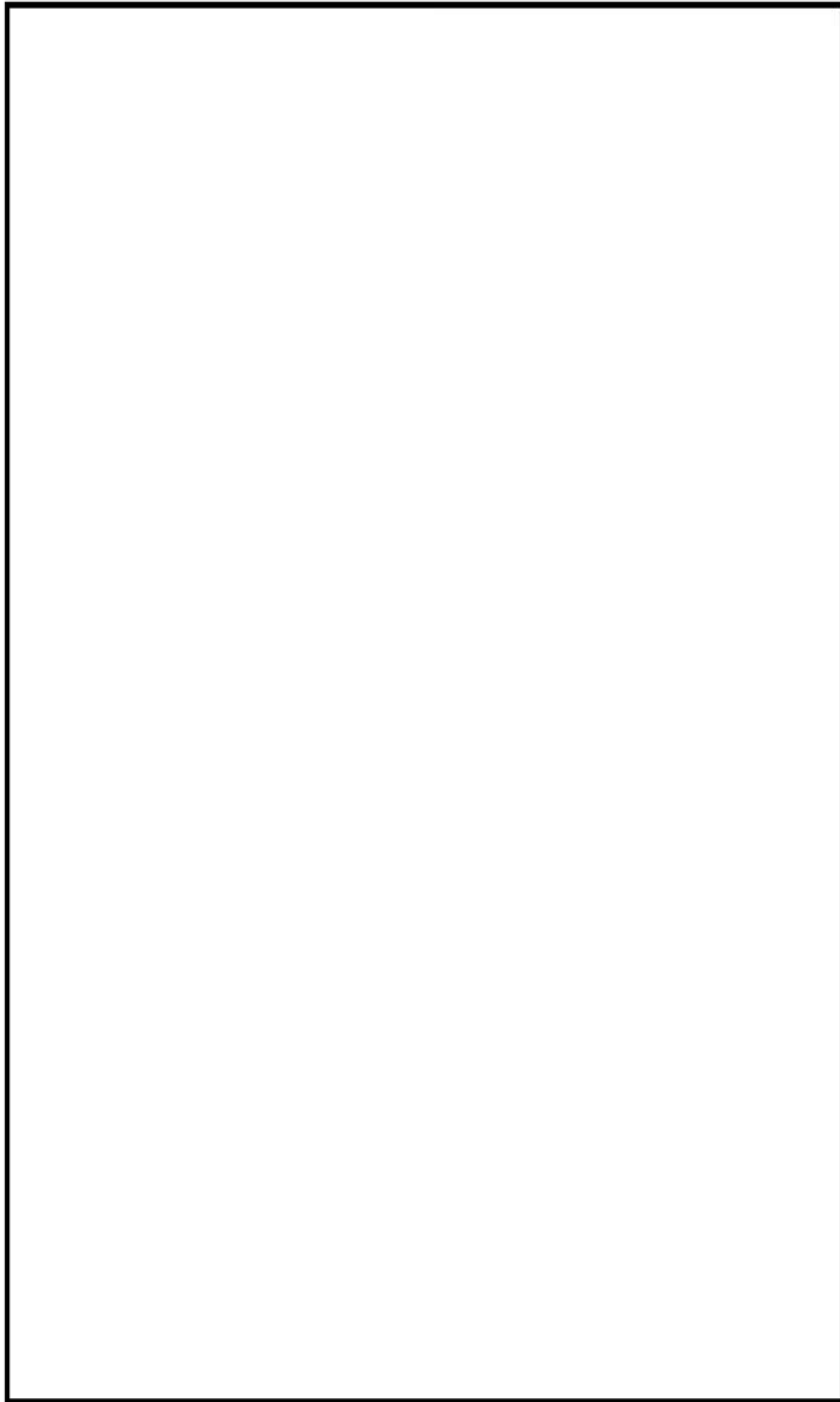
□ 内は商業機密に属しますので公開できません。


原子炉容器 一次冷却材ノズルコーナ一部 ECT 分析結果



A 出口管台 ノズル丸み部





添付図 4.1 B 出口管台 ノズル丸み部 
ECT 疑似信号波形例 (透磁率変化)



5) - (5) -01

BMI内面ECT検査記録(1/3)

確認年月日 平成27年4月1日
 確認者 [Redacted]

プラント名 : 関西電力株式会社 高浜発電所 2号機
 工事件名 : [Redacted]

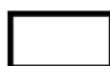
検査の対象機器		検査箇所	検査年月日
原子炉容器BMI内面溶接熱影響部		1~50番管台	(2/3) (3/3) 参照
渦電流探傷試験	試験条件	試験員(資格)	試験評価員(資格)
		プローブの使用環境	試験周波数[kHz]
		水中	[Redacted]
	校正記録	探傷器管理番号	プローブ管理番号
		[Redacted]	[Redacted]
		対比試験片管理番号	プローブの使用環境
[Redacted]	G3-01EE010-1	水中	
検査実施結果	結果	備考	
	良	—	
評価 きり等の有意な信号なし			

5) - (5) - 01

BMI内面ECT検査記録 (2/3)

探傷部位 (管台No.)	検査 年月日	試験評価員 (資格)	結果	関西電力殿		備考
				年月日	確認者	
1	H27.3.30		良	H27.4.1		
2	H27.3.28		良	H27.4.1		
3	H27.3.28		良	H27.4.1		
4	H27.3.28		良	H27.4.1		
5	H27.3.28		良	H27.4.1		
6	H27.3.30		良	H27.4.1		
7	H27.3.28		良	H27.4.1		
8	H27.3.28		良	H27.4.1		
9	H27.3.28		良	H27.4.1		
10	H27.3.30		良	H27.4.1		
11	H27.3.30		良	H27.4.1		
12	H27.3.28		良	H27.4.1		
13	H27.3.30		良	H27.4.1		
14	H27.3.28		良	H27.4.1		
15	H27.3.28		良	H27.4.1		
16	H27.3.30		良	H27.4.1		
17	H27.3.27		良	H27.4.1		
18	H27.3.30		良	H27.4.1		
19	H27.3.30		良	H27.4.1		
20	H27.3.28		良	H27.4.1		
21	H27.3.28		良	H27.4.1		
22	H27.3.28		良	H27.4.1		
23	H27.3.27		良	H27.4.1		
24	H27.3.28		良	H27.4.1		
25	H27.3.30		良	H27.4.1		

良：きず等の有意な信号なし



5) - (5) - 01

BMI内面ECT検査記録(3/3)

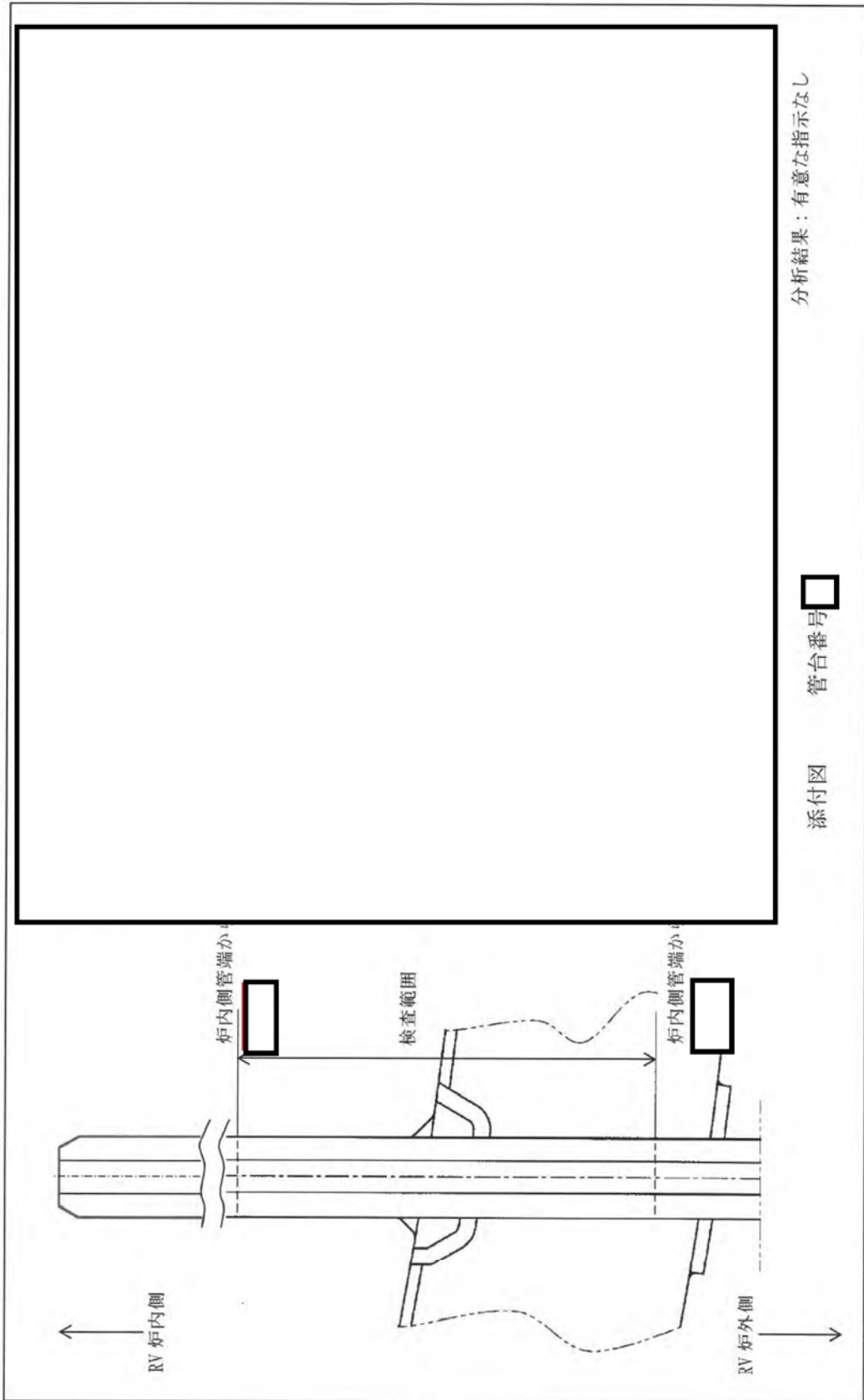
探傷部位 (管台No)	検査 年月日	試験評価員 (資格)	結果	関西電力殿		備 考
				年月日	確認者	
26	H27.3.30		良	H27.4.1		
27	H27.3.28		良	H27.4.1		
28	H27.3.28		良	H27.4.1		
29	H27.3.27		良	H27.4.1		
30	H27.3.30		良	H27.4.1		
31	H27.3.28		良	H27.4.1		
32	H27.3.30		良	H27.4.1		
33	H27.3.28		良	H27.4.1		
34	H27.3.27		良	H27.4.1		
35	H27.3.30		良	H27.4.1		
36	H27.3.27		良	H27.4.1		
37	H27.3.27		良	H27.4.1		
38	H27.3.28		良	H27.4.1		
39	H27.3.28		良	H27.4.1		
40	H27.3.27		良	H27.4.1		
41	H27.3.30		良	H27.4.1		
42	H27.3.30		良	H27.4.1		
43	H27.3.28		良	H27.4.1		
44	H27.3.27		良	H27.4.1		
45	H27.3.30		良	H27.4.1		
46	H27.3.27		良	H27.4.1		
47	H27.3.30		良	H27.4.1		
48	H27.3.28		良	H27.4.1		
49	H27.3.30		良	H27.4.1		
50	H27.3.27		良	H27.4.1		

良：きず等の有意な信号なし



内は商業機密に属しますので公開できません。

原子炉容器 BMI 管台 内面 ECT 分析結果



分析結果：有意な指示なし

添付図 管台番号

内は商業機密に属しますので公開できません。

No.	高浜2－特別点検（原子炉格納容器）－8 rev1
質 問	<p>（添付2） 非破壊試験（VT-4）の判定基準「原子炉格納容器の構造健全性または機密性に影響を与える恐れのある塗膜の劣化や腐食」の判断基準又は限界見本を提示すること。</p>
回 答	<p>「高浜1－特別点検（原子炉格納容器）－8 rev1」の回答と同様です。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

No.	高浜2－特別点検（コンクリート）－3
質 問	<p>(3頁) 強度について、コアサンプルの試験に使用した測定機器（試験機）と校正記録（国家標準までのトレーサビリティ体系図含む）、並びに測定要領（試験方法、試験条件等）を提示すること。</p>
回 答	<p>「高浜1－特別点検（コンクリート）－3」の回答と同様です。</p>

No.	高浜2－特別点検（コンクリート）－6
質 問	<p>(4頁) 遮蔽能力について、コアサンプルの試験に使用した測定機器（試験機）と校正記録（国家標準までのトレーサビリティ体系図含む）、測定要領（試験方法、試験条件等）を提示すること。</p>
回 答	<p>「高浜1－特別点検（コンクリート）－6」の回答と同様です。</p>

No.	高浜2－特別点検（コンクリート）－9
質 問	<p>(5頁) 中性化深さについて、測定に使用した測定器具と測定要領（試験方法、試験条件等）を提示すること。</p>
回 答	<p>「高浜1－特別点検（コンクリート）－9」の回答と同様です。</p>

No.	高浜2－特別点検（コンクリート）－12
質 問	<p>(6頁) 塩分浸透深さについて、コアサンプルの試験に使用した測定機器（試験機）と測定要領（試験方法、試験条件等）を提示すること。</p>
回 答	<p>「高浜1－特別点検（コンクリート）－12」の回答と同様です。</p>

No.	高浜2－特別点検（コンクリート）－15
質 問	<p>(7頁) アルカリ骨材反応について、コアサンプルの観察に使用した機器（試験機）と観察要領（観察方法、観察条件等）を提示すること。</p>
回 答	<p>「高浜1－特別点検（コンクリート）－15」の回答と同様です。</p>

No.	高浜2－特別点検（コンクリート）－16
質 問	<p>(8頁) 関西電力の社内標準に基づく力量管理及び育成計画について提示すること。</p>
回 答	<p>「高浜1－特別点検（コンクリート）－16」の回答と同様です。</p>